

平成21年度

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書

平成23年3月

遠野市教育委員会

目 次

| | | |
|-----|--------------------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 教育委員会の活動 | 1 |
| (1) | 遠野市教育委員会委員名簿 | 1 |
| (2) | 教育委員会の会議の開催状況 | 1 |
| (3) | 教育委員会の会議の審議及び協議状況 | 2 |
| ア | 教育委員会定例会・臨時会 | 2 |
| イ | 教育委員会委員協議会 | 4 |
| (4) | 教育委員会の会議以外の活動状況 | 4 |
| 3 | 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価 | 6 |
| (1) | 政策別実施事業の成果と課題 | 7 |
| ア | 健康づくりの推進 | 7 |
| イ | ふるさと教育の推進 | 9 |
| ウ | 生涯学習の推進 | 19 |
| エ | ふるさとの文化の継承・創造 | 20 |
| (2) | 平成21年度に実施した事務事業の点検及び評価 | 21 |
| ア | 点検及び評価の概要 | 21 |
| イ | 総合計画前期基本計画まちづくり指標の点検及び評価 | 21 |
| ウ | 平成21年度に実施した85事務事業の点検及び評価 | 23 |
| エ | 外部評価の結果 | 23 |

資料編

- 【資料1】 平成21年度総合計画前期基本計画まちづくり指標
(教育委員会23指標)実績一覧表
- 【資料2】 平成21年度事務事業成果説明書(教育委員会85事務事業)

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）の一部改正（平成20年 4月 1日施行）により、すべての教育委員会は、同法第27条第 1項の規定に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

この報告書は、遠野市教育委員会が平成21年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

なお、この報告書では、平成22年 9月に遠野市議会に提出した「地方自治法（昭和22年法律第 67号）第 233条第 5項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類」のうち教育委員会に係る部分についても、抽出して取りまとめています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動

(1) 遠野市教育委員会委員名簿

（平成21年度在職）

| 職 名 | 氏 名 |
|----------|---------|
| 委 員 長 | 浅 沼 敬 治 |
| 委員長職務代理者 | 似 内 宏 和 |
| 委 員 | 佐々木 るみ子 |
| 委 員 | 角 田 直 樹 |
| 委員（教育長） | 藤 澤 俊 明 |

(2) 教育委員会の会議の開催状況

平成21年度は、教育委員会定例会を毎月 1回（計12回）、教育委員会臨時会を 3回、合計15回の会議を開催しました。

また、会議に付議すべき議案の事前審議その他研究協議を行うため、委員協議会を 2回開催しました。

(3) 教育委員会の会議の審議及び協議状況

ア 教育委員会定例会・臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び遠野市教育長に対する事務委任規則（平成17年遠野市教育委員会規則第7号）第2条に規定する事項のうち、平成21年度において教育委員会定例会及び臨時会で審議した案件は、24件です。

【議案の性質別件数】

| 分類 | 項 目 | 件 数 |
|----|---|-----|
| 1 | 教育行政の運営に関する基本方針を定めること | 1 |
| 2 | 教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること | 2 |
| 3 | 学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること | 1 |
| 4 | 教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること | 1 |
| 5 | 職員の人事異動の方針を定めること | 3 |
| 6 | 職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。） | 8 |
| 7 | 附属機関の委員の任免に関すること | 4 |
| 8 | 文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関すること | 2 |
| 9 | 表彰に関すること | 1 |
| 10 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること | 1 |
| 計 | | 24 |

【平成21年度教育委員会会議議案一覧】

| 議案番号 | 件 名 | 提出日 | 決議 | 分類 |
|------------|--|------------|----|----|
| 平成21年4月定例会 | | | | |
| 22 | 教育委員会事務局職員の人事に関し議決を求めることについて | 平成21年4月28日 | 可決 | 6 |
| 23 | 遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 平成21年4月28日 | 承認 | 7 |
| 24 | 遠野市文化財保護審議会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 平成21年4月28日 | 承認 | 7 |
| 平成21年5月定例会 | | | | |
| 25 | 遠野市指定有形文化財の指定に関し議決を求めることについて | 平成21年5月26日 | 可決 | 8 |
| 平成21年6月定例会 | | | | |
| 26 | 遠野市学校給食運営審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて | 平成21年6月30日 | 可決 | 7 |

| 議案 番号 | 件 名 | 提出日 | 決議 | 分類 |
|-------------|---|-----------------|----|----|
| 平成21年 7月定例会 | | | | |
| 27 | 平成22年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を 求めることについて | 平成21年 7月31日 | 可決 | 3 |
| 28 | 平成21年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を 求めることについて | 平成21年 7月31日 | 可決 | 9 |
| 平成21年 9月定例会 | | | | |
| 29 | 遠野市就学指導委員会委員の委嘱に関し議決を求め ることについて | 平成21年 9月29日 | 可決 | 7 |
| 平成21年10月定例会 | | | | |
| 30 | 平成21年11月 1日付け定期人事異動の基準等（事務局職 員等）の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 平成21年 10月30日 | 承認 | 5 |
| 31 | 教育委員会事務局職員等の人事の専決処理に関し承認を 求めることについて | 平成21年 10月30日 | 承認 | 6 |
| 平成21年11月臨時会 | | | | |
| 32 | 遠野市教育委員会教育長の人事に関し議決を求め ることについて | 平成21年 11月26日 | 可決 | 6 |
| 平成21年11月定例会 | | | | |
| 33 | 平成22年度遠野市立小中学校教職員に係る定期人事異動 方針の臨時専決処理に関し承認を求めることについて | 平成21年 11月30日 | 承認 | 5 |
| 平成21年12月定例会 | | | | |
| 34 | 職員の懲戒処分の臨時専決処理に関し承認を求め ることについて | 平成21年 12月21日 | 承認 | 6 |
| 平成22年 1月定例会 | | | | |
| 1 | 教育委員会事務局職員等の人事の専決処理に関し承認を 求めることについて | 平成22年 1月29日 | 承認 | 6 |
| 2 | 平成22年 4月 1日付け定期人事異動の基準等（事務局職 員等）に関し議決を求めることについて | 平成22年 1月29日 | 可決 | 5 |
| 平成22年 2月定例会 | | | | |
| 3 | 平成22年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を 求めることについて | 平成20年 2月19日 | 可決 | 1 |
| 平成22年 2月臨時会 | | | | |
| 4 | 平成22年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求め ることについて | 平成22年 2月26日 | 可決 | 6 |
| 平成22年 3月臨時会 | | | | |
| 5 | 平成22年度教職員定期人事異動の内申の専決処理に関し 承認を求めることについて | 平成22年 3月18日 | 承認 | 6 |
| 6 | 平成22年度定期人事異動（事務局職員等）に関し議決を 求めることについて | 平成22年 3月18日 | 議決 | 6 |

| 議案番号 | 件名 | 提出日 | 決議 | 分類 |
|------------|--|------------|----|----|
| 平成22年3月定例会 | | | | |
| 7 | 構造改革特別区域法第29条第2項の規定により遠野市教育委員会の意見を聴くことに関する規則の制定に関し意見を求めることについて | 平成22年3月26日 | 承認 | 2 |
| 8 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて | 平成22年3月26日 | 可決 | 10 |
| 9 | 遠野市指定文化財の解除に関し議決を求めることについて | 平成22年3月26日 | 可決 | 8 |
| 10 | 遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について | 平成22年3月26日 | 可決 | 2 |
| 11 | 遠野市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定について | 平成22年3月26日 | 可決 | 2 |

イ 教育委員会委員協議会

委員協議会では、主要な施策、事業等の内容や実施状況に関する報告、説明及び協議を行いました。平成21年度の協議件数は、4件です。

| 番号 | 件名 | 協議日 |
|----|---|------------|
| 1 | 教育施設の管理・整備に関する権限の首長への移譲について（遠野市民センター学びのプラットホーム特区計画） | 平成21年9月29日 |
| 2 | 平成22年度教育委員会部局主要事業について | 平成22年2月19日 |
| 3 | 遠野市民センター学びのプラットホーム特区について | 〃 |
| 4 | 遠野市立中学校再編成計画について（市民懇談会のまとめ） | 〃 |

(4) 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の委員は、上記の会議のほか、以下のとおり市議会、学校訪問、各種行事等に出席しました。

市議会

- ・本会議（委員長及び教育長）
- ・予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）

学校訪問

- ・学校懇談会（6月：達曽部小学校、10月：綾織中学校）
- ・学校公開研究会（10月：土淵小学校、土淵中学校）
- ・遠野旬を食べよう給食（6月、7月、8月、9月、10月、12月）

中学校再編成

- ・遠野市立中学校再編成計画に係る区長会への状況説明（4月～5月）
- ・中学校再編成に係る教育委員会委員と市長等との意見交換会（6月）

- ・各町関係団体代表者懇談会（7月～8月）
- ・各町市民懇談会（平成22年1月～2月）

岩手県市町村教育委員会協議会等関係団体会議

- ・東北都市教育長協議会定期総会及び研修会（4月）
- ・岩手県市町村教育委員会協議会定期総会（5月）
- ・全国都市教育長協議会定期総会及び研究大会（5月）
- ・東北都市教育長協議会役員会（10月）
- ・岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会会議（10月）
- ・岩手県市町村教育委員会協議会委員長部会会議（10月）
- ・全国市町村教育委員会研究協議会（11月）
- ・中学生海外派遣結団式（平成22年1月）
- ・岩手県市町村教育委員会協議会臨時総会及び委員研修会（平成22年2月）等

各種行事等（主なもの）

- ・平成21年4月1日付け教育委員会定期人事異動辞令交付式（4月）
- ・小・中学校新任教職員着任式（4月）
- ・小・中学校入学式（4月）
- ・小・中学校長及び副校長合同会議（4月）
- ・遠野市生徒指導推進協議会総会（5月）
- ・遠野市中学校総合体育大会（6月）
- ・遠野わらすっこまつり（6月）
- ・平成・南部藩寺子屋交流事業（八戸市・七戸市との児童交流）（7月）
- ・市内小学校水泳記録会（7月）
- ・市内中学校総合体育大会水泳競技（7月）
- ・遠野市老人クラブ連合会さわやかスポーツ大会（7月）
- ・市内中学校陸上記録会（8月）
- ・遠野じんぎすかんマラソン（8月）
- ・『JFAこころのプロジェクト - 遠野わらすっこ「夢の教室」』事業締結調印式（9月）
- ・遠野市中学校駅伝競走大会（9月）
- ・市内小学校陸上記録会（9月）
- ・教育委員会勤続功労者表彰式（10月）
- ・遠野市民芸術祭（10月）
- ・就学指導委員会（10月、11月、平成22年2月）
- ・遠野小学校全校表現活動「遠野の里の物語」発表会（10月）
- ・市内小学校音楽祭（10月）
- ・岩手県特別支援教育研究大会遠野地区大会（11月）
- ・遠野地区中学校総合文化祭（11月）
- ・教育委員会委員辞令交付式（11月）
- ・教育研究所研究発表会（平成22年1月）
- ・地域で子どもを育てる活動発表会（平成22年1月）
- ・中学生海外派遣団出発式・帰国報告会（平成22年1月）

- ・成人式「はたちのつどい」（平成22年1月）
- ・第35回遠野物語ファンタジー「オシラサマ昇天」（平成22年1月）
- ・環境・科学研究発表会（平成22年2月）
- ・特別支援教育研究会卒業進級を祝う会（平成22年2月）
- ・遠野市学校保健研究大会（平成22年2月）
- ・小・中学校卒業証書授与式（平成22年3月）
- ・小・中学校教職員退職者及び管外異動者に対する辞令交付式（平成22年3月）
- ・教育委員会退職者辞令交付式（平成22年3月）

その他の行事（主なもの）

- ・第二次県立高校長期構想検討委員会ブロック別懇談会（5月）
- ・遠野市消防演習（6月）
- ・健康づくり総合大学「とすぽ」きらきらkids遠野エアロビックまつり（7月）
- ・愛知県大府市小学生都市間交流対応（8月）
- ・遠野市戦没者追悼式（8月）
- ・遠野市防災訓練（9月）
- ・遠野市市制施行4周年記念功労者表彰式（10月）
- ・ふるさと大館新田城まつり（10月）
- ・とおのスポーツ芸術祭2009（10月）
- ・遠野市老人クラブ連合会シルバー文化祭（11月）
- ・遠野市名誉市民故林政方氏告別式（11月）
- ・下一日市地区土地区画整理事業完成記念式典（11月）
- ・遠野わらすっこのつどい（11月）
- ・財団法人遠野市教育文化振興財団顕賞式及び遠野市体育協会栄賞表彰式（平成22年1月）
- ・遠野市民新年交賀会（平成22年1月）
- ・消防出初式（平成22年1月）
- ・『遠野物語』発刊100周年記念オープニングイベント（平成22年1月）
- ・遠野緑峰高校農業クラブ・商業クラブ合同発表会（平成22年1月）
- ・今後の高等学校の基本方向に係る意見を聴く会（平成22年2月）
- ・健康づくり総合大学「とすぽ」大学祭（平成22年2月）
- ・遠野高校情報ビジネス校の思い出を語る会（平成22年3月）
- ・財団法人遠野市教育文化振興財団設立35周年記念「小谷実可子講演会」（平成22年3月）

3 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価

遠野市教育委員会は、遠野市の行政の基本方針である「遠野市総合計画前期基本計画」（平成18年9月策定）に基づき、教育行政を推進しています。

教育委員会は、下図に示す「遠野市総合計画前期基本計画」の体系において、2つの大綱及び4つの政策にかかわっています。

この4つの政策ごとに、平成21年度における実施事業の成果と課題を総括しました。

【遠野市総合計画前期基本計画体系図】

基本理念 「遠野スタイルの創造」

将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

| 大 綱 | 政 策 | 施 策 |
|-------------------|-----------------|--------------------|
| 1 自然を愛し共生するまちづくり | 1 自然と共生する環境づくり | |
| | 2 快適な居住環境の形成 | |
| | 3 道路交通基盤の充実 | |
| | 4 安全安心な地域づくり | |
| 2 健やかに人が輝くまちづくり | 1 健康づくりの推進 | 1 健康づくり活動の推進（スポーツ） |
| | | 2 医療体制の充実 |
| | 2 地域福祉の充実 | |
| 3 活力を創意で築くまちづくり | 3 子育て支援の推進 | |
| | 1 農畜林業の振興 | |
| | 2 商工業の振興 | |
| 3 観光と交流のまちづくり | | |
| 4 ふるさとの文化を育むまちづくり | 1 ふるさと教育の推進 | 1 就学前教育の充実 |
| | | 2 学校教育の充実 |
| | 2 生涯学習の推進 | 1 社会教育の充実 |
| | | 2 芸術文化活動の推進 |
| | 3 ふるさとの文化の継承・創造 | 1 郷土文化の保存と活用 |
| | | 2 文化財の保存と継承 |
| 5 みんなで考え支えあうまちづくり | 1 住民主体のふるさとづくり | |
| | 2 行財政基盤の強化 | |
| | 3 行政サービスの向上 | |

(1) 政策別実施事業の成果と課題

ア 健康づくりの推進

総括

子どもから高齢者まで幅広い世代の市民一人一人が、身近な施設を拠点として、日常的に生涯にわたってスポーツに親しむことのできる健康・生涯スポーツ社会の実現をめざし、学校体育施設の開放、スポーツ教室の実施、市体育協会との連携による各種市民スポーツ大会の開催など、生涯スポーツの普及及び振興に努めました。

市民の健康づくり活動においては、健康と交流をキーワードに、保健・生涯学習・スポ

ーツが連携し、健康づくり総合プログラムを実践するため、遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」の本校（市民センター）及びサテライト校（各地区センター）のそれぞれにおいて、健康づくりやスポーツに関する教室、講座等を開催し、市民への健康づくり活動の推進に努めました。

子どもの体力づくりにおいては、早寝・早起き・朝ごはん運動を継続するとともに、チャレンジ徒歩通学や、小学生の短距離走における走力向上を目的とした走り方講習会などを実施し、子どもの生活習慣の改善や体力の向上に努めました。また、「キッズ元気アップ応援隊」を実施し、就学前児童の体力及び運動能力アップの推進に努めました。

また、ジュニアスポーツのレベルアップを図るため、経験豊かな指導者やトップアスリートを招いて、サッカー及び野球のジュニアレベルアップ事業を開催し、競技力の向上や指導者の養成・育成に努めました。

成果と課題

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|-----------------------------------|--|--|
| 健康づくり活動の推進 | | |
| 健康スポーツプログラム推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」の本校及びサテライト校で各種プログラムを実践し、年間を通じて健康づくり活動に取り組む環境を整えたことにより、健康づくり活動を継続して行う市民が増加した。 ・参加者が交流を深め、自主的に活動グループをつくるなど、「とすぼ」での活動が仲間づくりと地域づくりにつながった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・平日の夜間や休日における健康教室及びスポーツ教室の開催を充実させる必要がある。 ・健康教室の新規参加者のさらなる拡大を図る必要がある。 |
| 地域健康づくりプログラム推進事業（総合型地域スポーツクラブの推進） | <ul style="list-style-type: none"> ・市内各町の総合型地域スポーツクラブ9団体が自主的に活動を行い、健康づくり総合大学「とすぼ」と連携し、市民の健康づくりに対する意識啓発が図られた。 ・各地域への支援策として、講師派遣やスポーツ用具の提供を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスプロモーションや健康スポーツの普及を図りながら、各スポーツクラブの会員をさらに増やしていく必要がある。 ・健康づくりの大切さに関し、より一層の意識啓発を図るため、市民協働による取組を推進する必要がある。 |
| 子どもの体力づくりプログラム推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはん運動の推進、チャレンジ徒歩通学の実施等により、児童の生活習慣は改善方向にあり、体力や運動能力についても、新体力テストにおいて全体の75パーセントの項目で全国平均を上回るなど、向上傾向にある。 ・就学前児童を対象に運動能力アップや体力向上教室を実施し、様々な運動を体験させることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力の向上のため、学校、地域、保護者、行政等の連携による取組をさらに推進していく必要がある。 |

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|----------------------|--|---|
| スポーツ振興 | | |
| 競技・イベントスポーツプログラム推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ教室やスポーツイベントの開催及び支援を行い、スポーツの振興と普及に寄与した。 市体育協会、スポーツ少年団等と連携して各種スポーツ大会等を開催し、競技力の向上に努めた。 8月に開催した遠野じんぎすかんマラソンでは、生涯スポーツとしてのマラソンの振興はもとより、市街地の活性化、観光・物産の振興にも寄与した。 | 遠野じんぎすかんマラソンの参加者が年々増加していることから、参加者へのおもてなし及びピーアールの充実が必要である。 |
| ジュニアレベルアッププログラム推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> 市内中学校の野球部及び野球スポーツ少年団を対象に石井野球教室を開催し、競技力の向上を図った。 サッカースポーツ少年団、中学校・高校サッカー部を対象にトップレベルの指導者によるサッカー教室を開催し、競技力の向上を図った。 | ジュニアスポーツの競技力の向上を図るため、学校スポーツと社会スポーツとの連携をさらに強化していくことが必要である。 |
| 岩手国体サッカー会場誘致事業 | 平成28年に岩手県で開催される第71回国民体育大会のサッカー競技（少年男子の部）の会場が本市に決定したことから、先進地視察（千葉県市原市）を行い、今後の会場整備の方向性を検討した。 | 準備委員会を設置するとともに、芝の張替えなど、会場整備について検討を行っていく必要がある。 |

イ ふるさと教育の推進

(7) 就学前教育の充実

総括

子どもの権利を尊重し、健やかな育ちを支援することを目的に平成21年4月に制定した「遠野市わらすっこ条例」（平成21年遠野市条例第11号）に基づき、子育てに関する取組を推進するため、子育て総合支援センターにおいて、少子化対策及び子育て支援に関する総合的な施策の推進を図るとともに、市立保育所及び幼稚園の相互の補完により、地域の実情に即した保育と教育との一体化を図りました。

宮守町内の市立幼稚園・保育所においては、人間形成の上で大きな影響を持つといわれる幼児期における発達段階に応じた環境づくりに努め、幼稚園、保育所それぞれの機能を大切にしながら、相互の長所を取り入れ、補完しあいながら、保育所を利用する児童及び幼稚園に通園する園児の年齢ごとの保育・教育プログラムを作成し、運動環境等に配慮しながら、地域の実情に即した幼児教育に努めました。

成果と課題

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|------------|---|---|
| 幼児教育・保育の向上 | 宮守町内の高齢者施設・身体障がい者支援施設への訪問、町内の高齢者との交流、中学生・高校生の体験学習・ボランティアの受入れ等を行い、園児の情操教育の向上や世代間交流を図ることができた。 | 訪問、受入れとも、時期や感染症の有無等の事前調査等についての配慮が必要である。 |

| | | |
|-----------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・園児と小学生との交流を行い、幼稚園及び小学校の相互連携を図った。 ・小学校教諭と幼稚園教諭等とが保育参観や授業参観を相互に実施し、情報交換を行うことにより、互いの状況を把握し、小学校入学後の児童指導につなげることができた。 | <p>今後も、就学前教育のあり方、指導の方向性等について学校側との協議や情報交換を行う場を設け、さらなる連携を図っていく必要がある。</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・キッズ運動教室を開催し、遊びを通して体を動かすことの楽しさを教えることができた。 ・親子を対象とした運動教室を開催し、親子のふれあいの場を設けた。 | <p>幼児の体力向上につなげていくには、定期的に体を動かす機会を設ける必要がある。また、親子で運動を楽しむ環境づくりを行っていく必要がある。</p> |
| | <p>家庭菜園の実施、保育参観日を利用した給食の試食等を行い、園児への食育及び各家庭における食生活への意識を高めた。</p> | <p>食事の大切さを幼児に伝えるには、幼稚園・保育所における指導のみでなく、家庭の協力や意識づけが不可欠である。</p> |
| | <p>幼児教育に携わる幼稚園教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、年間を通じた研修を実施した。</p> | <p>今後も、教諭及び保育士の指導能力の向上を図るため、各種研修を実施しながら、研究を深めていく必要がある。</p> |
| 保育教育環境の整備 | <p>各市立幼稚園・保育所の修繕等を行い、幼児の教育環境の整備を図った。</p> | <p>各幼稚園・保育所の環境整備に係る短期的・長期的な計画が必要である。</p> |
| 芸術・文化活動 | <p>人形劇の観劇、地域のまつりへの参加等を通して、芸術・文化に触れ、携わる機会の確保に努めた。</p> | <p>幼児の情操教育の向上を図るため、今後も、優れた芸術・文化に触れる機会の確保に努める必要がある。</p> |

(1) 教育内容の充実

総括

「生命と心を育む教育」を実現するため、「学習・生活の基礎力の定着」「心の教育の充実」「社会性と自主性の伸長」の3つの視点から、各学校との共通理解と連携のもとに、各種事業を積極的に推進しました。

成果と課題

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|----------|--|---|
| 学力の向上 | | |
| 学力向上対策会議 | <p>校長、教務主任及び研修主任を対象として3回開催した。</p> <p>各校の実態と課題に即した年間の「計画 実行 評価 見直し」のPDCAサイクルによる学力向上策が定着しつつある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・主任層のさらなる意識の啓発を図る必要がある。 ・市全体で共通して取り組むべき事項を設定する必要がある。 |

| | | |
|----------------------|--|---|
| 教育研究所 | 教科指導における課題の解決及び特別支援教育の充実を図り、学校に対して還元することができる実践的な研究を行い、その成果を研究発表会において発表した。 | 各教科における重点的な研究が必要である。 |
| 標準学力検査・学力向上事業 | N R T（標準学力検査、4月実施）、学習定着度調査（国：4月実施、県：10月実施）の結果を分析し、各校への助言・指導を行ったことにより、各教科の学力実態の把握に基づいた指導が行われ、児童・生徒の基礎学力の定着を図る一助とすることができた。 | 各学校における独自の分析のあり方について、助言及び指導を行う必要がある。 |
| 学校教育専門員配置事業及び指導主事の派遣 | 各校の要望に応じ、学校教育専門員を39回、指導主事を129回派遣し、教師の授業力の向上及び校内研究の充実を図ることができた。 | 中学校における校内研究のさらなる充実を図る必要がある。 |
| 教育研究指定校事業 | 土淵小学校及び土淵中学校で学校公開研究会を開催するとともに、道徳指導の研究校として小友小学校を指定した。 学校公開の実施により、それぞれの研究の成果を他の小・中学校に還元することができた。 | 学校の自主性を高めていく必要がある。 |
| 外国人講師招へい事業 | 中学校8校に計216回、小学校11校に計97回外国人講師2名を派遣し、児童・生徒の英語力の向上及び国際理解教育の充実を図ることができた。 | 児童の英語力向上を図るため、小学校5・6年で実施する外国語活動において、より一層外国人講師の活用を図る必要がある。 |
| 心の教育の充実 | | |
| 特別支援教育及び適正な就学指導の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・花巻清風支援学校小学部遠野分教室、各保育園・各幼稚園、保育協会、遠野健康福祉の里等の関係機関との連携を図り、特別支援教育の推進と就学指導の実施を図った。 ・幼児の段階から、適正な就学支援に向けて、知能検査、各種教育相談を経て、就学指導委員会を開催した。 ・個別に支援を必要とする通常学級の児童のため、特別支援教育支援員を配置し、生活上・学習上の支援を行った。 | 年度の上半期における就学相談を充実させるとともに、計画的な就学指導を行う必要がある。 |
| 適応支援相談員等配置事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・適応支援相談員を中学校に配置し、別室登校生徒及び不登校生徒の相談等を行った。 ・家庭訪問や電話により、家庭との連絡相談を行い、生徒の心身の健康等について把握し、継続的な支援を図ることができた。 | 関係機関との連携をさらに密にしていく必要がある。 |
| 道徳地区公開講座 | すべての小・中学校において、保護者や地域の方々に道徳の授業を公開し、児童生徒の道徳心の向上を図ることができた。 | 児童・生徒の道徳心の向上を図るため、今後も実施を継続していく必要がある。 |

| | | |
|--------------------|---|---|
| 遠野わらすっこ「夢の教室」事業 | 市内小学校の5・6年生を対象として、財団法人日本サッカー協会が取り組むこのプロジェクト「夢の教室」（プロスポーツ選手等が、夢を持つことの大切さや夢に向かって努力することの大切さを児童・生徒に語る授業を行う事業）を実施し、児童が自分の夢について真剣に考える機会を提供した。 | 小学校のみならず、中学校についても実施を検討していく必要がある。 |
| 平成・南部藩寺子屋交流事業 | 市内小学校から26名の児童が参加し、受入・派遣交流を通じて、根城南部氏の縁でつながりのある青森県八戸市、同七戸町の歴史や文化を学ぶことができた。 | 児童数が減少していることから、参加児童数の見直しを検討する必要がある。 |
| 文化行事奨励（小・中学校） | ・市内小学校音楽祭、市内小・中学校作品展（絵画・書道）、小・中学校作文コンクールを実施し、児童・生徒の感性や情緒面の伸長に寄与した。 ・また、作文コンクールの入賞作品を、文集「遠野」にまとめ発行した。 | 作品の質を高める指導のあり方について検討する必要がある。 |
| 体育行事奨励（小・中学校） | 小学校体育協会及び中学校体育連盟が主催する地区大会の開催等に対する支援を行い、体育活動を通して、小・中学生の健全育成に寄与した。 | 今後も支援を継続していく必要がある。 |
| 幼稚園・保育園・小学校交流会 | 幼稚園教諭、保育士及び小学校の教諭が相互に情報交換を行う機会として、市全体で1回、また小学校区ごとに1回以上交流会を開催し、児童に対する教育における共通課題を確認し、行動等について気になる児童への指導のあり方について理解を深めることができた。 | 啓発活動を継続して行う必要がある。 |
| 特色ある学校づくり | | |
| 特色ある学校づくり事業 | すべての小・中学校が、地域の歴史・文化・伝統を生かして、農業体験、郷土理解学習、郷土芸能等の特色ある学習に取り組み、学校、地域及び家庭の連携が図られるとともに、児童・生徒が、郷土に対する理解と愛着を深めることができた。 | 総合的な学習の時間について、年間指導計画の見直しを図ることが必要である。 |
| いわてコミュニティ・スクール推進事業 | 小学校3校及び中学校1校において、地域の方を講師に迎え、地域の歴史や文化、自然についての講話を聞いたり、昔話など地域の題材を生かして、学習発表会で発表したりする等の活動を行い、地域との連携による学校経営を推進した。 | 平成22年度までの県補助事業であることから、事業の実施を継続する。 |
| 学校懇談会 | 達曽部小学校及び綾織中学校において懇談会を開催し、それぞれの学校の取組状況に関し、教育委員会関係者と学校の教職員とが意見交換を行った。 | 学校の教職員との懇談のあり方について検討する必要がある。 |
| 学校評価 | すべての小・中学校において内部評価及び外部評価をそれぞれ実施し、その結果をまとめ、公表した。 | 評価表の改善を図り、評価の結果を学校がどう今後の学校運営に活用していくか、またその公表の方法についてさらに検討する必要がある。 |

(7) 教育環境の充実

総括

少子化による児童生徒の減少が続く中、中学生のよりよい教育環境の実現を目指し、中学校再編成計画案の市民合意に努めるとともに、遠野北小学校整備、綾織小学校改築、耐震補強など児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送るための施設環境の充実に図りました。

また、個性と能力を発揮できる学習環境の向上を目指し、通学対策、教材整備、教育議の支援等に継続して取り組むとともに、国のスクールニューディール構想による事業を積極的に活用し、学力向上につなげるICT環境の整備を進めました。

成果と課題

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|-------------------|--|--|
| 中学校再編成の推進 | | |
| <p>中学校再編成の推進</p> | <p>平成20年11月に提示した中学校再編成計画案については、平成21年6月11日、市議会中学校再編成調査特別委員会からの最終報告を受け、この最終報告を尊重する基本姿勢に立って計画を推進することとし、地区別に市民懇談会を開催してきた。</p> <p>市議会中学校再編成調査特別委員会の最終報告の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内8校を3校に再編成する計画案は、既存校舎及び用地の有効活用を図る上でやむを得ないと思われる。 ・地域間の温度差を含め、住民合意を得るための努力が必要と思われる。 ・再編成時期の3校とも平成23年4月1日の同時スタートは時期尚早と考えられる。 ・市民合意に時間をかけて慎重に検討すべきと考えられる。 <p>懇談会開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年7月29日から8月11日まで 各町関係団体代表者懇談会（9会場、126名出席） ・平成22年1月22日から2月5日まで 各町市民懇談会（9会場、242名出席） <p>計画の推進などを求める要望書の提出 （平成22年3月2日：附馬牛保育園父母の会・附馬牛小学校PTA・附馬牛中学校PTA）</p> | <p>次代を担う中学生のより良い教育環境の実現に向けて、市民との合意を図りながら、平成22年度内における中学校再編成計画の策定を目指す。</p> |
| 学校施設の整備 | | |
| <p>遠野北小学校整備事業</p> | <p>老朽化に伴う校舎の大規模改造、屋内運動場及びプールの改築を行い教育環境の一体的な整備を図った。</p> <p>校舎大規模改造 期工事（20年度繰越事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 158,881,250円（11月10日完成） <p>プール改築実施設計（20年度繰越事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 1,995,000円（5月1日完成） | <p>さらなる総合的な教育環境の整備を図るため、平成22年度には、不足教室を補う多目的ホール棟の増築及び屋外環境整備を実施する。</p> |

| | | |
|--------------------|---|---|
| | <p>プール改築工事（20年度繰越事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 60,000,150円（11月5日完成） <p>既存プール解体工事（20年度繰越事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 5,040,000円（9月30日完成） <p>屋内運動場改築工事（20年度繰越事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 237,510,000円 （平成22年3月30日完成） <p>屋内運動場渡り廊下建設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 20,037,150円 （平成22年3月30日完成） <p>その他工事監理委託、交付金対象外工事、備品購入等</p> <p>国補正による事業推進（次年度繰越）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール棟増築事業（3月補正） 予算額 54,300千円 ・屋外環境整備事業（3月補正） 予算額 12,000千円 | |
| <p>綾織小学校改築整備事業</p> | <p>平成21年度及び22年度の2箇年計画で、学びのプラットフォーム構想（中学校を活用した小学校・保育園・児童館の子育て機能や高齢者の活動の場、地域スペースの世代を超えた一体的な整備）に基づく校舎改築を、地域及び学校と連携しながら進めた。</p> <p>校舎改築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約額 397,635,000円 （工期：平成21年9月16日から平成22年11月11日まで） 平成21年度支払額 81,000,000円 （木材加工、基礎コンクリート工事、中学校接続渡り廊下工事） <p>綾織中学校クラブハウス移設工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 8,951,250円 （平成22年2月1日完成） <p>とおの里山美林事業 （児童の校舎改築に係る学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境学習会 ・伐採、馬搬及び木工団地での製材、集成材加工現場見学 <p>国補正による事業の推進（次年度繰越）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外構等整備工事（1月補正） 予算額 24,000千円 ・校舎改築工事 期分（3月補正） 予算額 341,100千円 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事工程の着実な履行とともに、児童が地場産材を活用した校舎の完成までの過程に直接携わる生きた教育を継続して実行する。 ・地域との連携のもと、学びのプラットフォーム構想を推進する。 |
| <p>小学校施設耐震補強事業</p> | <p>耐震補強が必要と判定された小学校3施設の耐震改修工事を実施した（20年度繰越事業）。</p> <p>土淵小学校屋内運動場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 6,088,950円（6月26日完成） <p>鱒沢小学校校舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 10,358,250円（6月30日完成） <p>遠野小学校校舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 31,200,750円（8月28日完成） | <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は、耐震性が不足している遠野小学校屋内運動場の耐震補強設計を行う。 ・老朽化が著しい遠野中学校の改築に早期に取り組む必要がある。 |

| | | |
|-------------------------|---|--|
| <p>小学校太陽光発電システム整備事業</p> | <p>国のスクールニューディール構想における学校施設のエコ化を推進するため、小学校2校への太陽光発電の導入を進めた。</p> <p>小学校太陽光発電システム設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 1,785,000円(10月30日完成) <p>遠野北小学校太陽光発電設備設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 22,286,250円 <p>(平成22年3月26日完成)</p> <p>綾織小学校太陽光発電設備設置工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度繰越 17,713千円 | <p>日本の地球環境問題に対応する観点からも、再生可能エネルギーとしての太陽光発電システムの学校施設への導入を計画的に進める必要がある。</p> |
| <p>学校管理費(施設改修)</p> | <p>教育環境の整備と、教育財産の適正な維持管理を図った。</p> <p>宮守中学校プールろ過器改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 6,268,500円(平成22年1月13日完成) <p>遠野中学校外倉庫工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 1,241,100円(7月30日完成) <p>青笹小学校落雷被害修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 2,159,850円(8月17日完成) <p>遠野小学校暖房設備不凍液補充工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費 1,291,500円(11月27日完成) <p>等(決算額 17,368,923円)</p> | <p>設備の保守点検や学校巡回、学校との連携を通して、施設の維持管理、修繕補修の適切な対応に努める。</p> |
| <p>公共施設ロングライフ事業</p> | <p>安全、安心な施設環境を図るため、公共施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式により効率化を図りながら進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設 決算額 6,983,550円 ・中学校施設 決算額 5,085,150円 <p>(計 12,068,700円)</p> | |
| <p>地域連携型緊急雇用創出事業</p> | <p>国の地域連携型緊急雇用創出事業(地域連携雇用推進室所管)により安心安全な学校づくりに資する環境整備を業者委託(臨時職員雇用)で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度繰越 9,217千円(校舎等外壁舗装、遊具塗装、樹木環境整備等) | <p>当該事業を効果的に活用するため綿密な執行計画を立てて業務を推進していく必要がある。</p> |
| <p>学習情報通信技術環境整備事業</p> | <p>国のスクールニューディール構想におけるICT環境の整備を図るため、地上デジタル配線設備及び校内LAN配線設備を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ICT環境整備事業テレビ受信・LAN設備工事 <p>事業費 11,865,000円</p> <p>(平成22年3月30日完成)</p> <p>テレビ配線16校、LAN15校</p> | <p>ICT環境の整備を推進することで、学力向上や校務の効率化を目指す。</p> |
| <p>通学対策の充実</p> | | |
| <p>小中学校スクールバス更新事業</p> | <p>より安全で快適な通学に資するため、平成7年2月登録、15年経過の小友小学校スクールバスの更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小友小学校スクールバス(中型) <p>契約額 13,270,950円</p> <p>着座38名、平成22年3月26日納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小友小学校スクールバス(小型) <p>契約額 8,734,950円</p> <p>着座23名、平成22年3月26日納入</p> | <p>スクールバスの耐用状況を確認しながら、計画的な更新を行う。</p> |

| | | |
|-----------------------|---|---|
| <p>通学対策費</p> | <p>遠距離通学児童生徒のため、スクールバス等の運行を行い、通学難の解消を図った。また、遠距離通学児童生徒に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学バス等運行委託料 バス6台、ワゴン3台、タクシー1台、路線バス1台（決算額 15,863,164円） 遠距離通学費補助金（通学距離4km以上） 40名（決算額 268,800円） <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学バス等運行委託料 バス3台（決算額 5,392,107円） 遠距離通学費補助金（通学距離6km以上） 20名（決算額 148,000円） | <ul style="list-style-type: none"> 中学校再編成計画案では、スクールバス等をさらに15台配置する計画にある。 スクールバスの住民利用に供する活用については、デマンド交通システムの確立に併せて検討を行うことが必要とされる。 |
| <p>教材の整備</p> | | |
| <p>教材整備費</p> | <p>学校が必要とする教材備品、図書を購入するとともに、児童生徒用のパソコンのリースを継続して行い、学習環境の向上に努めた。</p> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材備品 2,546,199円 児童用図書 3,043,869円 パソコンリース料 14,549,100円 教材用消耗品 162,605円 <p>（決算額 20,301,773円）</p> <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材備品 2,036,810円 生徒用図書 3,156,565円 パソコンリース料 13,133,352円 他教材用消耗品 241,342円 <p>（決算額 18,568,069円）</p> | <p>児童生徒が、質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の整備を図る。</p> |
| <p>理科教育設備整備事業</p> | <p>新学習指導要領（小学校：平成23年度、中学校：平成24年度）に対応した理科教育備品の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校 事業費 4,183,540円 中学校 事業費 3,884,520円 | |
| <p>学習情報通信技術環境整備事業</p> | <p>国のスクールニューディール構想におけるICT環境の整備を図るため、電子黒板機能付きデジタルテレビやパソコンの導入を進めた。</p> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板機能付きデジタルテレビ 11校、事業費 7,854,000円 （平成22年3月26日納入） パソコン及び周辺機器整備 宮守小学校及び鱒沢小学校 46台、事業費 8,568,000円 （平成22年3月24日納入） 教育用ノートパソコン 23台、事業費 2,283,225円 （平成22年3月31日納入） | |

| | | |
|--------------|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・その他電子黒板機能付デジタルテレビ周辺機器整備 事業費 1,377,175円 (決算額 20,082,400円) 中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板機能付きデジタルテレビ 8校、事業費 5,712,000円 (平成22年3月26日納入) ・パソコン及び周辺機器整備 小友中学校及び附馬牛中学校 44台、事業費 6,342,000円 (平成22年3月24日納入) ・教育用ノートパソコン 15台、事業費 1,491,525円 (平成22年3月31日納入) ・その他電子黒板機能付デジタルテレビ周辺機器整備 事業費 1,023,875円 (決算額 14,569,400円) | |
| 教育費の支援 | | |
| 私立幼稚園保育料助成事業 | <p>私立幼稚園に就園する園児の保育料の助成を行い、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境づくりに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1子(5%軽減)49名 ・第2子(10%軽減)45名 ・第3子以降(月額4,800円の有料)19名 <p>計 113名(決算額 3,784,500円)</p> | 保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立幼稚園の健全運営の支援に努める。 |
| 私立幼稚園就園奨励事業 | <p>私立幼稚園就園者の保護者の所得状況に応じ、保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減するとともに、幼稚園教育の振興に資した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光の園幼稚園43名、聖光幼稚園46名、やさか幼稚園(北上市)(1名)、暁の星幼稚園(北上市)1名 <p>計 91名(決算額 8,175,100円)</p> | |
| 就学援助費 | <p>経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>小学校：対象者 136名(うち要保護6名) (決算額 8,367,811円)</p> <p>中学校：対象者 100名(うち要保護5名) (決算額 10,545,531円)</p> | 就学援助制度の周知徹底を図り、すべての児童生徒が義務教育を円滑に受けることができるよう努める。 |
| 奨学資金の貸付 | | |
| 育英事業(貸付分) | <p>経済的な事由により修学困難な優秀な学生96名に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続大学生等 50名 ・継続高校生 12名 ・新規大学生等 30名 ・新規高校生 4名 <p>(決算額 41,280,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度決算時滞納額 6,825,000円 (収納率 83.70%) | 滞納者のほか、保証人及び連帯保証人への償還要請や催告を行い、未償還となっている貸付金の償還に一層努めなければならない。 |

(I) 学校給食の充実

総括

成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康の増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、豊かな人間形成等の目標を達成するため、衛生管理を徹底し、安全・安心でおいしい給食の提供に努めました。

また、給食の食材には地場産物を多く取り入れ、地産地消を推進するとともに、遠野産の旬の食材にこだわった「遠野旬を食べよう給食」の実施や、学校栄養職員による栄養指導と学校訪問により、食育の推進に取り組みました。

成果と課題

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|---------------|--|--|
| 食育及び地産地消給食の推進 | 栄養バランスのとれた季節感のある給食を提供することができた。 また、食材には遠野産の農産物を多く取り入れ、消費の拡大を図り、地場産物の使用割合を高めた。 ・地場産物の使用割合 目標 50.0% 実績 63.3%（うち野菜48.0%） ・決算額 117,745,240円 | 冬期間における地場産の食材の確保が難しい。 |
| | 食育と地産地消の一環として、「遠野旬を食べよう給食」を6回実施し、遠野産食材にこだわった給食を提供するとともに、農業生産者や給食センター職員が学校を訪問し、食の大切さや地域の食文化等について語り、理解を深めた。 ・実施時期及び実施校 6月 鱒沢小学校、附馬牛中学校 7月 小友小学校 8月 遠野中学校、宮守中学校 9月 土淵小学校 10月 宮守小学校、土淵中学校 12月 青笹小学校、達首部小学校 ・決算額 1,799,437円 | ・野菜等が不足する時期の献立の工夫を図る必要がある。 ・平成15年度から継続して実施していることから、内容の見直しとさらなる充実を図る必要がある。 |
| 学校訪問及び栄養指導の推進 | 学校との連携を密にし、栄養教諭及び学校栄養職員による食育及び栄養に関する指導を行った。 ・遠野学校給食センター 各学校 年2回 学校訪問30回 ・宮守学校給食センター 各学級 年1回 学級訪問23回 | 学校訪問による方法だけではなく、給食センター施設の見学も交えながら栄養指導を行う方法も検討する必要がある。 |
| 総合食育センターの整備 | 遠野・宮守の両学校給食センターの施設・設備が老朽化していることから、これらを統合し、本市における食育と地産地消の拠点である「総合食育センター」を整備するための協議・検討を行った。 | 施設や機械が老朽化していることから、早急な施設の整備が必要である。 |

ウ 生涯学習の推進

総括

生涯学習情報「学びのいずみ」を「広報遠野」に定期的に掲載し、市民への学習情報の提供の充実を図るとともに、『市民協働企画 私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」』や出前講座など、市民協働による講座を開催し、生涯学習の推進に努めるとともに、家庭教育セミナー等を実施し、家庭教育に関する学習の機会を提供しました。

また、児童館、児童クラブ、小学校の空き教室を利用して、「放課後子ども教室」を全小学校区で開催し、児童の安全な放課後の居場所づくりと家庭学習の習慣づけを図りました。

青少年の健全育成については、青少年ふるさと発見探偵団、青少年囲碁・将棋教室、遠野わらすっこまつり等の事業を実施するとともに、少年委員を中心として、少年の非行防止・環境浄化活動を行い、地域が一体となって、不健全図書自動販売機の撤去に取り組む運動を展開しました。

芸術文化の振興については、落語、演劇等の自主事業を開催し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供しました。また、市民芸術祭、遠野物語ファンタジー等の開催や、遠野市民センターバレエスタジオ及び遠野青少年少女合唱隊の運営により、市民の芸術文化活動の促進に寄与しました。

成果と課題

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|---------------|---|---|
| 生涯学習のまちづくりの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのいずみ」を広報遠野に定期的に掲載し、市民に学習情報を提供し、効率的に学習講座を開催することができた。 ・『市民協働企画 私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」』の活動を支援し、市民協働による学習機会を設けることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズの把握を把握するとともに、講座の内容の一層の充実を図る必要がある。 ・定期的、継続的な学習機会を提供していく必要がある。 |
| 家庭教育支援総合推進事業 | <p>小・中学校との連携による「家庭教育セミナー」や家庭教育講演会を開催し、保護者等に家庭教育についての学習機会を提供することができた。</p> | <p>講座の内容をさらに充実させ、参加者数を増やしていく必要がある。</p> |
| 青少年の健全育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・青少年ふるさと発見探偵団を開催し、児童が様々な体験活動を通して、集団の中で互いに協調しながら交流を深めることができた。また、大学生、高校生等がボランティア（子ども活動サポーター）として探偵団活動に参加し、子どもの見守りや相談を行った。 ・青少年囲碁・将棋教室を開催し、囲碁・将棋の対局を通して、児童・生徒や地域の指導者等の交流を深めた。 ・放課後子ども教室を全小学校区で実施し、児童の安全な放課後の居場所づくりや自主学習・家庭学習の習慣づけに寄与した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと発見探偵団の活動をさらに充実させていく必要がある。 ・放課後子ども教室を今後も継続していく必要がある。 ・市民に対し、より一層の非行防止や環境浄化の意識の啓発を図り、青少年の健全育成を図る必要がある。 |

| | | |
|----------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 少年センターを中心に、関係機関・団体・地域が連携し、「地域の子どもは地域で守る」を念頭に、少年の非行防止・環境浄化活動に努めた。 | |
| 都市交流推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> 東京都武蔵野市の児童20名を受け入れ、キャンプ等の自然体験を通して、児童の交流を深めた。 姉妹都市であるイタリアのサレルノ市を訪問し、サレルノ国際映画祭の表彰式において『遠野物語』の朗読を披露し、『遠野物語』発刊100周年をピーアールした。 | 高校生海外交流事業の実施内容の充実について検討していく必要がある。 |
| 芸術文化振興事業 | <ul style="list-style-type: none"> 自主事業として、みやもりホールにおいて「三遊亭好楽&三遊亭楽太郎 二人会」を、市民センターにおいて松竹特別公演「恋桜」を開催し、優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供した。 遠野市民センターバレエスタジオと遠野少年少女合唱隊の活動を支援するとともに、発表会を開催し、児童・生徒の情操教育等に寄与した。 遠野物語ファンタジーでは、子どもから高齢者まで幅広い世代がキャスト、スタッフ等として参加し、市民協働による舞台をつくりあげることができた。 市芸術文化協会加盟団体の自主事業の開催に対する支援を行うとともに、市民芸術祭（合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会及び菊花展）を開催し、各芸術文化団体等が日頃の成果を披露する機会を提供した。 | <ul style="list-style-type: none"> 自主事業の開催に当たっては、住民ニーズ等の把握に努める必要がある。 バレエスタジオ及び少年少女合唱隊については、より効果的な運営を展開することができるよう、受講生の確保に努める。 遠野物語ファンタジーについては、多くの市民が参加することのできる体制を今後も維持していく必要がある。 |

エ ふるさとの文化の継承・創造

総括

本市の貴重な文化財の調査、保護、啓発活動等を通して、郷土の歴史・文化の発掘と保存、古くから伝承されてきた文化の継承に努めました。

成果と課題

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|-------------|--|---|
| 文化財調査保護事業 | <ul style="list-style-type: none"> 『遠野物語』原稿及び関連資料、『遠野物語』初版本第1号の2件を市文化財として指定した。また、枯死に伴い、「シダレグリ」の指定を解除した。 郷土芸能については、映像記録の作成、共演会の開催に要する経費への補助など、保存団体への支援を行った。 | 文化財の調査・保護、郷土芸能の保護・育成を継続し、郷土の文化の継承に努める必要がある。 |
| 埋蔵文化財発掘調査事業 | 埋蔵文化財の発掘、調査、分析を行うとともに、開発行為に係る工事への立会いや試掘調査を行った。 | 遺物や調査記録の適正な管理を継続していく必要がある。 |

| 目 標 | 成 果 | 課 題 |
|------------------|---|-------------------------|
| 千葉家重要文化財指定整備活用事業 | 国指定重要文化財「千葉家住宅」説明板を設置し、その周知を図った。また、保全のため、自動火災報知設備を設置した。 | 保全に向けての調査等を継続していく必要がある。 |
| 文化的景観保存事業 | 土淵町山口集落の追加選定に向け、民俗・水系・信仰・建築・植生・土地利用の変遷等についての調査を実施した。 | 追加選定に向けた調査を継続していく必要がある。 |

(2) 平成21年度に実施した事務事業の点検及び評価

ア 点検及び評価の概要

「遠野市総合計画前期基本計画」では、市民主体の行政運営を推進するため、計画の進捗状況を数値で示した148のまちづくり指標について、年度ごとに段階的に目標値を設定し、その達成状況を毎年度公表しています。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に当たっては、**教育委員会の権限に関する事務に関連する23のまちづくり指標のうち、平成21年度における達成状況が「未達成」となったもの及びこれに関連する事業について、外部評価を実施**しました。

また、**平成21年度に教育委員会が実施した85の事務事業の点検及び評価を行うため、それぞれの事務事業の内容と計画値、その成果と実績値などをまとめた成果説明書を作成**しました。

イ 総合計画前期基本計画まちづくり指標の点検及び評価

総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会23指標）を、平成21年度における目標に対する達成率に応じて、下の表のとおり「**達成**」「**概ね達成**」「**未達成**」「**評価から除外**」の4つに区分し、資料編【資料1】平成21年度総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会23指標）実績一覧表としてまとめました。

達成率は、平成21年度における目標値に対する実績値の割合で算出し、達成率が100パーセント以上であるものは「達成」、達成率が90%以上であるものは「概ね達成」、達成率が90パーセント未満であるものは「未達成」としています。

【平成21年度総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会23指標）総括表】

| 項 目 | 平成21年度 | | | | 平成20年度 | | | |
|--------------------------|--------|----|------|----|--------|----|------|----|
| | 指標数 | | 率（％） | | 指標数 | | 率（％） | |
| まちづくり指標の数 | 23 | | 100 | | 31 | | 100 | |
| 達成（達成率 100%以上） | 14 | 17 | 61 | 74 | 23 | 28 | 74 | 90 |
| 概ね達成（達成率90%以上 100%未満） | 3 | | 13 | | 16 | | | |
| 未達成（達成率90%未満） | 5 | 5 | 22 | 22 | 3 | 3 | 10 | 10 |
| 評価から除外 | 1 | 1 | 4 | 4 | - | - | - | - |

【点検及び評価】

- (1) 平成21年度から、遠野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例（平成20年遠野市条例第36号）の規定に基づき、文化に関する事務（文化財の保護に関する事務を除く。）を市長が管理し、及び執行することとされたため、平成21年度における教育委員会に係るまちづくり指標は23指標（平成20年度は31指標）となりました。

これに伴い、教育委員会に係るまちづくり指標全体において「達成」となった指標の割合は61パーセントであり、昨年度の割合（74パーセント）と比較すると、若干減少しています。

- (2) 「達成」となった指標は14指標であり、指標全体の61パーセントに当たります。

小学校標準学力検査偏差値、学校給食食材に占める地場産物使用割合、市民センター施設の利用件数・利用者数、生涯学習講座の延べ受講者数、市民協働の自主事業の参加者数・鑑賞者数などが目標値を上回っており、着実な進展が図られていることから、今後も、これを継続するため、取組を充実させていく必要があります。

- (3) 「概ね達成」となった指標は次の3指標で、指標全体の13パーセントに当たります。

| |
|--|
| スポーツ施設利用者数 中学校標準学力検査偏差値 民俗芸能の映像記録団体数（累計） |
|--|

スポーツ施設利用者数は、前年度実績からは若干減少したものの、市民プールや早瀬川緑地運動場（グラウンドゴルフ場）の利用者数が増加し、目標値 223,000人に対して実績値は 216,509人、達成率は97.1%となりました。

また、中学校標準学力偏差値の達成率は93.1%、民俗芸能の映像記録団体数（累計）の達成率は94.4%であり、概ね目標値に近い値となっています。

- (4) 「未達成」となった指標は次の5指標で、指標全体の22パーセントに当たります。

「未達成」となった指標は、昨年度の3指標から5指標に増えています

| |
|--|
| 総合型地域スポーツクラブ会員数（累計） 老人クラブ加入者数 学習定着度状況調査（小学校） 学習定着度状況調査（中学校） 家庭教育講座等の延べ参加者数 |
|--|

「未達成」となった5指標の現状の分析、要因及び今後の見通しについては、【資料1】に記載しています。

小学校及び中学校の学習定着度状況調査については、平均点を指標としていますが、平成21年度に設定した目標に達していないことから、学力の向上を図る取組により一層

努める必要があります。しかし、指標が平均点で設定されていることから、問題の難易度の影響を受けやすいことから、平成23年度から平成27年度までの後期基本計画においては、県平均とも関連づけた相対的な評価をすることができるよう、指標の設定について見直しを図っていく必要があります。

- (5) 新型インフルエンザの影響により、高校生の海外派遣事業及び受入れ事業をともに中止としたことから、中学生・高校生の海外派遣数については、平成21年度の評価から除外しています。

ウ 平成21年度に実施した85事務事業の点検及び評価

平成21年度に遠野市教育委員会が実施した85の事務事業の点検及び評価を行うため、個々の事務事業の内容・計画値・予算額と、その成果・実績値・決算額を、資料編【資料2】平成21年度事務事業成果説明書（教育委員会85事務事業）としてまとめました。

エ 外部評価の結果

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による外部評価については、平成23年3月22日（火）に「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（平成21年度実施分）の点検・評価会議」を開催し、学識経験を有する5名の評価員に、総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会23指標）のうち、平成21年度における達成状況が「未達成」となった5指標及びこれに関連する事業についての評価をいただきました。

【評価員による評価の結果】

| | まちづくり指標 | まちづくり指標名 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 | 達成率(%) | まちづくり指標の成果・評価 |
|---|---------|--------------------------|-------------|-------|---|------|--------|--|
| | 行政評価調査 | まちづくり指標の実績に直接的に影響した事務事業名 | 事務事業の内部評価結果 | | 外部評価の結果 | | | |
| 1 | 2 | 総合型地域スポーツクラブ会員数(累計) | 人 | 3,400 | 2,749 | 未達成 | 80.9 | 多くの市民の健康に対する認識は高まってきている。総合型スポーツクラブの会員の多くは中高年代であり、高齢者の会員が自然減している状況にある。今後は、会員数の増加に向け健康づくり総合大学「とすぼ」との連携を図りながら、様々な運動機会や活動が継続できるよう構築していく。 |
| | 7 | 地域健康づくりプログラム推進事業費 | 継続 | | 総合型地域スポーツクラブの位置付けについて改めて整理し、より一層市民への周知を図り、会員数の増加につなげていく必要がある。 | | | |
| <p>【主な意見】 総合型地域スポーツクラブについての市民への周知がまだ不足しているのではないかと。他市の取組も参考にしながら、クラブの自主運営の方法などについて検討していく必要があると思う。どんな形のクラブをめざしていくのか、という理念をさらに明確にしていくべきだと思う。形だけでなく、内容をより充実させていっていただきたい。</p> | | | | | | | | |
| 2 | 3 | 老人クラブ加入者数(累計) | 人 | 3,620 | 3,176 | 未達成 | 87.7 | 加入者が減少した原因は、対象者数は横ばいであるが、生活の多様化・個性化により、組織的な拘束を嫌う人が多くなっていることなどにより加入者が増えない状況にある。今後、団塊世代が退職を迎えたことから、スポーツ大会等の交流事業を通じ会員の増加を働きかけていく。 |
| | 4 | 老人クラブ育成指導費 | 継続 | | 高齢者の方々が地域活動の中心的な担い手として各種事業等に参画する機会をより増やしていく必要がある。 | | | |
| <p>【主な意見】 現在の遠野市における老人クラブへの加入率は25パーセントであるが、県内では上位であり、また、中には50パーセント近い加入率の地区もある。老人クラブの活動は、加入者数だけでは測れないものがある。高齢化が進む遠野市においては、地域活動においても老人クラブが中心的役割を果たしていかなければならないと考える。そのための取組を充実させていく必要があるのではないかと。</p> | | | | | | | | |

| | まちづくり指標 | まちづくり指標名 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 | 達成率(%) | まちづくり指標の成果・評価 |
|---|--|--------------------------|-------------|-----|--|------|--------|--|
| | 行政評価調査 | まちづくり指標の実績に直接的に影響した事務事業名 | 事務事業の内閣評価結果 | | 外部評価の結果 | | | |
| 3 | 7 | 学習定着度状況調査(小学校) | 平均点 | 79 | 70.1 | 未達成 | 88.7 | 設定目標値が高すぎたので未達成だったが、県の平均より1.4点上回った。(県68.7) 設定値には到達していないものの、小5の国語以外は県平均を上回っている。 |
| | 30 | 教育研究所事業費(標準学力検査・学力向上事業費) | 継続 | | 県平均との関係で成果を評価するよう指標設定の改善を図るとともに、学力の向上を図る取組を一層充実させ、継続していく必要がある。 | | | |
| | 【主な意見】 県の平均点に対してプラス何点、という指標設定が望ましいのではないか。また、学力検査の結果だけではなく、学習活動の質を評価するような指標設定も必要ではないか。 学んだことをいかに定着させていくかが重要であることから、反復学習の機会の充実を図り、基礎を学ぶことを徹底していく必要があるのではないか。また、子どもたちが学ぶよろこびを感じられるような授業展開や学習方法の工夫も必要ではないか。 本市は、交流事業や体験学習など、さまざまな特色ある活動を数多く行っている。これらの活動は非常に良いことではあるが、年々、子どもたちや先生方の負担も大きくなってきているのではないか。学習とのバランスを保っていくことが必要だと思う。 | | | | | | | |
| 4 | 8 | 学習定着度状況調査(中学校) | 平均点 | 69 | 59.7 | 未達成 | 86.5 | 設定目標値が高すぎたので未達成だったが、県の平均と同じである。中1の国語と数学、中2の理科と英語が課題である。中学1年生の平均点が県平均よりも低い傾向が続いており、学習の中1ギャップへの対応が求められる。 |
| | 30 | 教育研究所事業費(標準学力検査・学力向上事業費) | 継続 | | 県平均との関係で成果を評価するよう指標設定の改善を図るとともに、学力の向上を図る取組を一層充実させ、継続していく必要がある。 | | | |
| | 【主な意見】 県の平均点に対してプラス何点、という指標設定が望ましいのではないか。また、学力検査の結果だけではなく、学習活動の質を評価するような指標設定も必要ではないか。 中学生になると、学ぶべきことの幅も広がることから、中学生の学力をいかに伸ばしていくか、より意識的に取り組んでいく必要があるのではないか。 | | | | | | | |

| | まちづくり指標 | まちづくり指標名 | 単位 | 目標値 | 実績値 | 達成状況 | 達成率(%) | まちづくり指標の成果・評価 |
|--|---------|--------------------------|-------------|-------|---|------|--------|--|
| | 行政評価調査 | まちづくり指標の実績に直接的に影響した事務事業名 | 事務事業の内閣評価結果 | | 外部評価の結果 | | | |
| 5 | 15 | 家庭教育講座等の延べ参加者数 | 人 | 1,100 | 750 | 未達成 | 68.2 | P T A や学校保健会等と連携し10地区で「家庭教育ゼミナール」を開催したが、参加者数 750人と目標達成できなかった。 家庭教育ゼミナールは毎年開催により定着してきており、今後は地域が主体として事業を実施するよう見直しを図る。 |
| | 70 | 家庭教育支援総合推進事業費 | 継続 | | 各学校と各町の地域教育協議会とが連携を図りながら、自主的に家庭教育講座の運営を行うことができるよう支援を図っていく必要がある。 | | | |
| <p>【主な意見】 家庭教育ゼミナールは、「家庭教育」という枠に縛られがちではないか。テーマをもう少し幅広く、間口を広げて取り組んでいってもいいのではないかと。 今まで実施してきた家庭教育ゼミナールの内容や講師をリスト化して、実施主体に提供するような取組も必要ではないか。また、内容を充実させていくためには、ある程度の予算を確保していくことも重要となってくると思う。 家庭教育について、保護者が今どのようなことを学びたいかというニーズの把握も必要であると思う。</p> | | | | | | | | |

資料編

【資料1】

平成21年度総合計画前期基本計画まちづくり指標

(教育委員会23指標)実績一覧表

【資料2】

平成21年度事務事業成果説明書(教育委員会85事務事業)

平成21年度総合計画前期基本計画 まちづくり指標(教育委員会23指標)実績一覧表

| まちづくり指標 | | | 前年度 実績値 | 21年度 | | 達成状況 | 達成率 (%) | 成果・評価 |
|---------|-------------------------|-----|------------|---------|---------|------|------------|---|
| 指標名 | 単位 | 目標値 | | 実績値 | | | | |
| 1 | スポーツ施設利用者数 | 人 | 224,203 | 223,000 | 216,509 | 概ね達成 | 97.1 | 目標値を概ね達成したが対前年比3.4%減となった。通年利用できる市民プールは対前年比17%増、早瀬川緑地運動場のグラウンドゴルフ場は対前年比46%増となった。逆に市民体育館武道ホールは対前年比33%減、トレーニングルームは対前年比12%減であった。平成19年度に開校した健康づくり総合大学「とすば」を中心とした健康づくりへのPRや各種教室・講座開催により、市民の健康意識は高まってきている。今後は、市民ニーズに応えた教室や講座の企画や開催を検討し、利用者数が増加するよう「とすば」と一体となった健康づくりの推進を図る。 |
| 2 | 総合型地域スポーツクラブ会員数(累計) | 人 | 2,776 | 3,400 | 2,749 | 未達成 | 80.9 | 多くの市民の健康に対する認識は高まってきている。総合型スポーツクラブの会員の多くは中高年代であり、高齢者の会員が自然減している状況にある。今後は、会員数の増加に向け健康づくり総合大学「とすば」との連携を図りながら、様々な運動機会や活動が継続できるよう構築していく。 |
| 3 | 老人クラブ加入者数(累計) | 人 | 3,243 | 3,620 | 3,176 | 未達成 | 87.7 | 加入者数が減少した要因は、対象者数は横ばいであるが、生活の多様化・個性化により、組織的な拘束を嫌う人が多くなっていることなどにより加入者が増えない状況にある。今後、団塊世代が退職を迎えたことから、スポーツ大会等の交流事業を通じ会員の増加を働きかけていく。 |
| 4 | 中学生・高校生の海外派遣数 | 人 | 22 | 23 | 9 | - | - | 平成21年度は、中学生の海外派遣を実施した。(中学生チャタヌーガ派遣9人、引率2人) 新型インフルエンザの関係で、高校生の海外派遣、受入共に中止となった。21年度指標実績から除いて評価する。 |
| 5 | 小学校標準学力検査偏差値 | 偏差値 | 53 | 52 | 53.2 | 達成 | 102.3 | 設定値を上回っており各校の取組が成果となって現れている。昨年度やや落ち込んでいた理科・社会についても、前年結果よりも理科1.9ポイント、社会0.5ポイントそれぞれアップするなど、全ての教科について良好な結果となっている。 |
| 6 | 中学校標準学力検査偏差値 | 偏差値 | 50 | 54 | 50.3 | 概ね達成 | 93.1 | 設定目標値が高すぎたので未達成だったが、昨年度よりやや上回っている。中1は全ての教科で良好な結果となっているが、中2・中3の数学・理科・英語の3教科について偏差値が低い。 |
| 7 | 学習定着度状況調査(小学校) | 平均点 | 66 | 79 | 70.1 | 未達成 | 88.7 | 設定目標値が高すぎたので未達成だったが、県の平均より1.4点上回った。(県68.7) 設定値には到達していないものの、小5の国語以外は県平均を上回っている。 |
| 8 | 学習定着度状況調査(中学校) | 平均点 | 59 | 69 | 59.7 | 未達成 | 86.5 | 設定目標値が高すぎたので未達成だったが、県の平均と同じである。中1の国語と数学、中2の理科、英語が課題である。中学1年生の平均点が県平均よりも低い傾向が続いており、学習の中1ギャップへの対応が求められる。 |
| 9 | 特色ある学校づくり事業実施学校数 | 校 | 19 | 19 | 19 | 達成 | 100.0 | すべての学校が本事業を実施している。 どの学校でも、地域の人材を有効に活用し、地域特有の文化や国際社会の理解に努めた。 特にも、土淵小の取り組みでは、子ども語り部として各種イベントに参加する等し、語り部1000人プロジェクトの認定を受ける成果があった。 |
| 10 | 学校給食食材に占める地場産物使用割合 | % | 37.9 | 50.0 | 63.3 | 達成 | 126.6 | 遠野青果物商業組合(給食センターに野菜を納入している八百屋組合)との話し合いで、春から秋までの野菜が豊富な時期は、産直をととして地元産野菜を使用することで合意した。 市内産直三者との話し合いで、地元産野菜の供給体制の強化をお願いした。これ以上の向上は厳しいと思う。 |
| 11 | 市民センター施設の利用件数(スポーツ施設除く) | 件 | 3,968 | 4,000 | 4,229 | 達成 | 105.7 | 各種サークル、団体の活動拠点として昨年度同様市民センター施設が利用されている。市民の舞台による大ホール、楽屋の利用件数が増加した。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれる。 |
| 12 | 市民センター施設の利用者数(スポーツ施設除く) | 人 | 174,222 | 171,000 | 171,567 | 達成 | 100.3 | 遠野物語発刊100周年記念事業開催に伴い、大ホールと楽屋の利用人数が増加した。今後も生涯学習などの充実により、利用者数の増加を図る。 |

| まちづくり指標 | | | 前年度 実績値 | 21年度 | | 達成状況 | 達成率 (%) | 成果・評価 |
|---------|----------------------------|-----|------------|-------|--------|------|------------|--|
| 指標名 | 単位 | 目標値 | | 実績値 | | | | |
| 13 | 全講座における継続的な学習機会の割合 | % | 38 | 31 | 40.9 | 達成 | 132.0 | 1コース4回以上の講座の実施割合は44講座中18講座で昨年を上回った。年間計画を起て計画的に実施したことにより、目標を達成できた。今後も計画的に講座を開催する。 |
| 14 | 市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数 | 人 | 4,247 | 4,060 | 4,682 | 達成 | 115.3 | 年間計画を起て計画的に実施したことにより、今年度目標を622人上回った。今後も市民ニーズに応じた講座を企画立案し、計画的な講座開設に取り組んでいく。 |
| 15 | 家庭教育講座等の延べ参加者数 | 人 | 1,125 | 1,100 | 750 | 未達成 | 68.2 | PTAや学校保健会等と連携し10地区で「家庭教育ゼミナール」を開催したが、参加者数750人と目標達成できなかった。家庭教育ゼミナールは毎年開催により定着してきており、今後は地域が主体として事業を実施するよう見直しを図る。 |
| 16 | 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 | 回 | 13 | 9 | 12 | 達成 | 133.3 | みやもりホールで6回、市民センター大ホールで1回、中ホールで4回、あえりあ遠野交流ホールで1回開催など、昨年に比べ減少はしたものの活発な事業展開を図った。達成要因としては、各団体において芸術文化への取組が高まっており、活動発表しやすい体制にあることと考えられる。今後の具体的取組について、団体の会員の確保や育成を図るとともに、市民センターやみやもりホールの特性を活かし、市民が自ら行う自主事業や活動発表の啓発を図る。 |
| 17 | 市民協働の自主事業の参加者数 | 人 | 2,463 | 1,770 | 2,099 | 達成 | 118.6 | 芸術文化協会加盟団体の自主事業としてではなく、流派の大会として実施したことから実績値から外した団体があった。また、インフルエンザが流行したため遠野中学校吹奏楽部など参加辞退となり参加者数が減少したが、全体的には例年通りの団体に参加していただき活発な事業展開を図れた。 |
| 18 | 市民協働の自主事業の鑑賞者数 | 人 | 11,036 | 7,650 | 10,414 | 達成 | 136.1 | 遠野物語ファンタジーが『遠野物語』発刊100周年記念事業としての位置付けとともに第35回公演という節目に当たることから演目を「オシラサマ昇天」とし開催した。市内外の観客数の増加もあり例年以上の入場者数となった。市民協働による自主事業への取組の推進とPRに努め鑑賞者数の拡大を図る。 |
| 19 | 文化財の指定(累計) | 件 | 132 | 111 | 133 | 達成 | 119.8 | 『遠野物語』原稿及び関連資料、『遠野物語』初版本第1号の2件を指定したほか、枯死による「シダレグリ」を解除した。また、重要文化的景観選定に向け、土淵町の山口集落を調査中。今後も、市内の文化財の調査、記録、市指定などを行い保護・保存に努める。 |
| 20 | 文化財教室受講者数 | 回 | 14 | 15 | 10 | 達成 | 140.6 | 遠野遺産や文化的景観の説明会を開催した。今後も、文化財への理解と関心を深めるため教室の開催件数と参加者数の増加を図っていく。 |
| | | 人 | 359 | 360 | 506 | | | |
| 21 | 指定文化財説明板設置件数 | 基 | 39 | 39 | 40 | 達成 | 102.6 | 国指定文化財の「千葉家住宅」に1基設置した。今後も計画的に案内板を設置し、文化財への理解と関心を深めていく。 |
| 22 | 民俗芸能団体数(累計) | 団体 | 65 | 65 | 65 | 達成 | 100.0 | 郷土芸能保存育成事業等を通じた用具の整備、発表機会の支援を継続し、後継者育成と活動の機会を創出し、民俗芸能団体の維持が図られた。芸能団体活動の継続と充実を図るための支援を行う。 |
| 23 | 民俗芸能の映像記録団体数(累計) | 団体 | 16 | 18 | 17 | 概ね達成 | 94.4 | 平成21年度は、多くの演目を有する芸能団体の映像記録となったため、1団体だけの記録に留まった。継承されなくなった演目の復活を誘導し、支援策等について十分な検討を進める。 |

【未達成のまちづくり指標(5指標)の分析】

| まちづくり指標 | | 未達成となった現状の分析 | 要 因 | 今後の見通し |
|---------|---------------------|---|---------|--|
| | 指標名 | | | |
| 2 | 総合型地域スポーツクラブ会員数(累計) | 総合型スポーツクラブの会員の多くは中・高年代であり、高齢者の会員が自然減している状況にある。 | 指 標 設 定 | 健康づくり総合大学「とすぼ」と連携しながら、様々な運動機会や活動を継続することができる体制を構築し、会員数の増加を働きかけていく必要がある。 |
| 3 | 老人クラブ加入者数(累計) | 生活スタイルの多様化・個性化により、組織的な拘束を嫌う人が多くなっていることなどから、加入者が増えない状況にある。 | 指 標 設 定 | スポーツ大会等の交流事業を通して、会員の増加を働きかけていく必要がある。 |
| 7 | 学習定着度状況調査(小学校) | 問題の難易度にかかわらず、目標値を79と設定しているため、目標値を大きく下回る結果となった。 | 指 標 設 定 | 学習定着度状況調査の評価が、絶対評価(到達目標値)から相対評価に変わってきていることから、正当な評価とするため、県平均との関係で成果を評価する形で指標を設定する必要がある。 |
| 8 | 学習定着度状況調査(中学校) | 問題の難易度にかかわらず、目標値を69と設定しているため、目標値を大きく下回る結果となった。 | 指 標 設 定 | 学習定着度状況調査の評価が、絶対評価(到達目標値)から相対評価に変わってきていることから、正当な評価とするため、県平均との関係で成果を評価する形で指標を設定する必要がある。 学校間で偏差値に差が生じていることから、積極的に学校への指導を行っていく必要がある。 |
| 15 | 家庭教育講座等の延べ参加者数 | 家庭教育ゼミナールは、講座の内容が定型化する傾向にある。 | 指 標 設 定 | 地域が実施主体となって、自主的に家庭教育講座の運営を行うことができるよう見直しを図る必要がある。 |

平成21年度事務事業成果説明書

資料2

| 款 | 項 | 目 | 事業名 |
|----|----|---|--------------------------|
| 1 | 2 | 1 | 5 公共施設ロングライフ事業費（小学校施設） |
| 2 | 2 | 1 | 5 公共施設ロングライフ事業費（中学校施設） |
| 3 | 3 | 1 | 3 高齢者スポーツ大会費 |
| 4 | 3 | 1 | 3 老人クラブ育成指導費 |
| 5 | 3 | 2 | 1 青少年健全育成活動事業費 |
| 6 | 4 | 1 | 5 健康スポーツプログラム推進事業費 |
| 7 | 4 | 1 | 5 地域健康づくりプログラム推進事業費 |
| 8 | 4 | 1 | 5 子どもの体力づくりプログラム推進事業費 |
| 9 | 5 | 1 | 1 勤労青少年ホーム運営事業費 |
| 10 | 10 | 1 | 1 教育委員会費 |
| 11 | 10 | 1 | 2 事務局一般事務費 |
| 12 | 10 | 1 | 2 私立幼稚園運営費補助金 |
| 13 | 10 | 1 | 2 私立幼稚園就園奨励事業費 |
| 14 | 10 | 1 | 2 私立幼稚園保育料助成事業費 |
| 15 | 10 | 1 | 2 地域教育文化振興事業費 |
| 16 | 10 | 1 | 2 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 |
| 17 | 10 | 1 | 2 学校教育一般事務費 |
| 18 | 10 | 1 | 2 文化行事奨励費 |
| 19 | 10 | 1 | 2 外国人講師招へい事業費 |
| 20 | 10 | 1 | 2 就学指導委員会費 |
| 21 | 10 | 1 | 2 学校教育専門員配置事業費 |
| 22 | 10 | 1 | 2 適応支援相談員等配置事業費 |
| 23 | 10 | 1 | 2 特色ある学校づくり事業費 |
| 24 | 10 | 1 | 2 豊かな体験活動推進事業費 |
| 25 | 10 | 1 | 2 いわてコミュニティ・スクール推進事業費 |
| 26 | 10 | 1 | 2 ふるさと学校体験推進事業費 |
| 27 | 10 | 1 | 2 平成・南部藩寺子屋交流事業費 |
| 28 | 10 | 1 | 2 特別支援教育推進事業費 |
| 29 | 10 | 1 | 2 遠野わらすっこ「夢の教室」事業費 |
| 30 | 10 | 1 | 3 教育研究所費（標準学力検査・学力向上事業費） |
| 31 | 10 | 1 | 3 教育研究所費（社会科副読本編集事業費） |
| 32 | 10 | 1 | 4 育英事業費 |
| 33 | 10 | 1 | 5 公舎管理費 |
| | | | 【小学校】 |
| 34 | 10 | 2 | 1 小学校一般管理費 |
| 35 | 10 | 2 | 1 学校保健管理費 |
| 36 | 10 | 2 | 2 通学対策費（スクールバス更新） |
| 37 | 10 | 2 | 2 通学対策費 |
| 38 | 10 | 2 | 2 教材整備費 |
| 39 | 10 | 2 | 2 指導用教材整備費 |
| 40 | 10 | 2 | 2 就学援助費 |
| 41 | 10 | 2 | 2 特別支援教育関係費 |
| 42 | 10 | 2 | 2 特別支援教育就学奨励費 |
| 43 | 10 | 2 | 2 体育・文化行事奨励費 |

| 款 | 項 | 目 | 事業名 |
|----|----|---|-------------------------|
| 44 | 10 | 2 | 2 教育研究指定校費 |
| 45 | 10 | 2 | 2 理科教育設備整備事業費 |
| 46 | 10 | 2 | 2 学校情報通信技術環境整備事業費 |
| 47 | 10 | 2 | 3 綾織小学校改築整備事業費 |
| 48 | 10 | 2 | 3 遠野北小学校大規模改造等事業費 |
| 49 | 10 | 2 | 3 小学校太陽光発電システム整備事業費 |
| 50 | 10 | 2 | 3 小学校施設耐震補強事業費 |
| | | | 【中学校】 |
| 51 | 10 | 3 | 1 中学校一般管理費 |
| 52 | 10 | 3 | 1 中学校管理費（施設整備） |
| 53 | 10 | 3 | 1 学校保健管理費 |
| 54 | 10 | 3 | 2 通学対策費 |
| 55 | 10 | 3 | 2 教材整備費 |
| 56 | 10 | 3 | 2 指導用教材整備費 |
| 57 | 10 | 3 | 2 就学援助費 |
| 58 | 10 | 3 | 2 特別支援教育関係費 |
| 59 | 10 | 3 | 2 特別支援教育就学奨励費 |
| 60 | 10 | 3 | 2 体育・文化行事奨励費 |
| 61 | 10 | 3 | 2 教育研究指定校費 |
| 62 | 10 | 3 | 2 理科教育設備整備事業費 |
| 63 | 10 | 3 | 2 学校情報通信技術環境整備事業費 |
| 64 | 10 | 4 | 1 幼稚園運営事業費 |
| 65 | 10 | 5 | 1 社会教育一般事務費 |
| 66 | 10 | 5 | 1 生涯学習のまちづくり推進費 |
| 67 | 10 | 5 | 1 青少年活動サポート事業費 |
| 68 | 10 | 5 | 1 芸術文化振興事業費 |
| 69 | 10 | 5 | 1 と・お・のいきいき参画プラン推進事業費 |
| 70 | 10 | 5 | 1 家庭教育支援総合推進事業費 |
| 71 | 10 | 5 | 1 学社連携プログラム推進事業費 |
| 72 | 10 | 5 | 1 都市交流推進事業費 |
| 73 | 10 | 5 | 2 公民館一般管理費 |
| 74 | 10 | 5 | 2 文化交流施設管理費 |
| 75 | 10 | 5 | 5 文化財調査保護費 |
| 76 | 10 | 5 | 5 埋蔵文化財発掘調査事業費 |
| 77 | 10 | 5 | 5 千葉家重要文化財指定整備活用事業費 |
| 78 | 10 | 5 | 5 文化的景観保存事業費 |
| 79 | 10 | 6 | 1 スポーツ健康一般事務費 |
| 80 | 10 | 6 | 1 競技・イベントスポーツプログラム推進事業費 |
| 81 | 10 | 6 | 1 ジュニアレベルアッププログラム推進事業費 |
| 82 | 10 | 6 | 1 岩手国体サッカー会場誘致事業費 |
| 83 | 10 | 6 | 2 学校給食事業費 |
| 84 | 10 | 6 | 3 体育施設管理費（一般） |
| 85 | 10 | 6 | 3 体育施設ブラッシュアップ事業費 |

| 2 款 | | 総 務 費 | | 1 項 | | 総 務 管 理 費 | | 5 目 | | 財 産 管 理 費 | |
|-----------|--|----------------------|--|---------|--|-----------|-----|-----------------|-----------------|-----------|--|
| 事業名 | | 公共施設ロングライフ事業費（小学校施設） | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 小学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。 | | | | | | 計画値 | 対象施設：小学校 11校 | | | |
| | 施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場等、小学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数96件：6,983,550円 宮守小学校高圧ケーブル取替 青笹小学校ボイラー真空ヒーター制御盤修理 等 | | | | | | | 実績値 | 対象施設：小学校 11校 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 6,984,000 | | 6,983,550 | | | | | | | | 6,983,550 | |

| 2 款 | | 総 務 費 | | 1 項 | | 総 務 管 理 費 | | 5 目 | | 財 産 管 理 費 | |
|-----------|--|----------------------|--|---------|--|-----------|-----|----------------|----------------|-----------|--|
| 事業名 | | 公共施設ロングライフ事業費（中学校施設） | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 中学校施設における少額の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、迅速かつ効率的な維持管理を行い、安全かつ安心な教育環境の整備に資する。 | | | | | | 計画値 | 対象施設：中学校 8校 | | | |
| | 施設の維持修繕を一括管理委託方式で行うことにより、校舎、屋内運動場等、中学校施設の安全かつ安心な環境の整備が図られ、適切な維持管理を行うことができた。 修繕件数56件：5,085,150円 （附馬牛中学校高圧気中開閉器取替、小友中学校トイレ改修等） | | | | | | | 実績値 | 対象施設：中学校 8校 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 5,086,000 | | 5,085,150 | | | | | | | | 5,085,150 | |

| 3 款 | | 民 生 費 | | 1 項 | | 社 会 福 祉 費 | | 3 目 | | 老 人 福 祉 費 | |
|---------|--|------------|--|---------|--|-----------|-----|-----------------------|-----------------------|-----------|--|
| 事業名 | | 高齢者スポーツ大会費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。 | | | | | | 計画値 | 大会数 5回 参加者数 1,575名 | | | |
| | 遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、次のスポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 第4回ゲートボール・ベタンク大会（6月3日、400人参加） 第4回さわやかスポーツ大会（7月22日、600人参加） 第4回グラウンド・ゴルフ大会（8月21日、85人参加） 第21回いきいきシルバースポーツ大会（9月6日、88人参加） 第4回シルバー室内競技大会（3月2日、600人参加） | | | | | | | 実績値 | 大会数 5回 参加者数 1,773名 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 473,000 | | 301,121 | | | | | | | | 301,121 | |

| 3 款 | 民 生 費 | 1 項 | 社 会 福 祉 費 | 3 目 | 老 人 福 祉 費 | |
|-----------|--|--|-----------|---------|--|--|
| 事業名 | | | | | 老人クラブ育成指導費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。 | | | 計画値 | 単位クラブ数 69団体 事業回数 5 回 会員数 3,620人 | |
| | 成果 | 遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 第41回岩手県老人クラブ大会参加（10月15日、26人参加） 第4回シルバー文化祭（展示部門、10月31日～11月1日） 第4回シルバー文化祭（舞台部門、11月17日） 「遠野今昔～山ひだに生きる（第4集）」発行 リーダー研修会（1月14日、210人参加） 第4回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、2月16日） | | | 実績値 | 単位クラブ数 69団体 事業回数 5 回 会員数 3,176人 |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | |
| 3,070,000 | | 2,965,520 | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 |
| | | | | | | 一般財源 |
| | | | | | | 1,025,520 |

| 3 款 | 民 生 費 | 2 項 | 児 童 福 祉 費 | 1 目 | 児 童 福 祉 総 務 費 | |
|-----------|--|--|-----------|---------|----------------------|--------------------|
| 事業名 | | | | | 青少年健全育成活動事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 遠野市少年センター活動費 青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。 | | | 計画値 | 少年委員活動回数 延べ1,080回 | |
| | 成果 | 少年委員を市内全部で90人に委嘱した。教員の少年委員を各町に配置するなど、学校や主任児童委員等との連携体制をとった。 通常の補導活動はもとより、特別街頭補導として七夕祭り特別補導、列車補導、合同補導を実施した。 有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を実施した。 | | | 実績値 | 少年委員活動回数 延べ793回 |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | |
| 3,752,000 | | 3,269,358 | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 |
| | | | | | | 一般財源 |
| | | | | | | 3,269,358 |

| 4 款 | 衛 生 費 | 1 項 | 保 健 衛 生 費 | 5 目 | 健康づくり推進事業費 | |
|-----------|---|---|-----------|---------|--|---|
| 事業名 | | | | | 健康スポーツプログラム推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 「健康づくり総合プログラム」の活動拠点である「健康づくり総合大学・とすば」を運営する。 市民一人一人がそれぞれの年齢や健康状態に応じて積極的に取り組むことができる健康づくりに関する各種プログラムを実践する。 保健・生涯学習分野と協働し、保健・スポーツ・生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践する。また、市内9地区センターをサテライト校として主にスポーツプログラムを実践する。 | | | 計画値 | ・健康づくり総合プログラムの実践 ・健康づくり総合大学大学祭ホットスポーツの集いの開催 | |
| | 成果 | 本校、サテライト校で各種プログラムを実践し、市民が年間を通じて健康づくり活動に取り組むことができる環境を整え、これを周知してきたことにより、運動をはじめとした健康づくり活動を継続して行う市民が増加している。 また、参加者どうしの交流が健康づくり活動を継続する意欲を増すこと、「とすば」に参加する地域住民が自主的に運動教室等の活動グループをつくっていることなどから、「とすば」での健康づくり活動の継続が、仲間づくり、地域づくりへとつながっている。 | | | 実績値 | ・本校教室 225回 4,982人参加 ・サテライト校 246回 2,677人参加 ・保健プログラム 169回 1,415人参加 ・生涯学習プログラム 80回 3,673人参加 ・大学祭「心も体もホット!スポーツの集い」 150人参加 |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | |
| 3,620,000 | | 3,478,110 | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 |
| | | | | | | 一般財源 |
| | | | | | | 3,466,100 |
| | | | | | | 12,010 |

| 4 款 | 衛 生 費 | 1 項 | 保 健 衛 生 費 | 5 目 | 健康づくり推進事業費 | | |
|---------|--|---------|-----------|---------|-------------------|--|---------|
| 事業名 | | | | | 地域健康づくりプログラム推進事業費 | 単位：円 | |
| 事業内容 | 子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が、身近な施設を活動拠点として、自主的な運営を行いながら複数のスポーツ種目を楽しむことができるよう、市内9箇所に「総合型地域スポーツクラブ」を発足し、更なる普及啓発と活動支援、種目別ジュニアスポーツクラブの育成を図る。 | | | | 計画値 | ・市内9箇所の総合型地域スポーツクラブへ支援 ・ジュニアスポーツクラブの創設・支援 | |
| | 市内各町の総合型地域スポーツクラブ9団体が自主的な活動を行うとともに、健康づくり総合大学「とすば」と連携し、市民への健康づくり意識の啓発、活動の推進が図られた。 | | | | 実績値 | ・市内9箇所の総合型地域スポーツクラブへ支援 ・ジュニアスポーツクラブの支援 | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 310,000 | | 306,435 | | | | | 306,435 |

| 4 款 | 衛 生 費 | 1 項 | 保 健 衛 生 費 | 5 目 | 健康づくり推進事業費 | | |
|-----------|---|-----------|-----------|---------|---------------------|--|------|
| 事業名 | | | | | 子どもの体力づくりプログラム推進事業費 | 単位：円 | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力の向上や運動能力の向上、望ましい生活習慣の改善・形成を図る。 生活習慣改善運動を展開し、早寝・早起き・朝ごはん運動の推進を図る。 チャレンジ徒歩通学の推進 走り方講習会の実施 運動能力向上トレーニングの実施 新体力テストの分析 就学前幼児の運動教室の実施 広報誌（ニュースレター）の発行 キッズ元気アップ応援隊による子どもの体力づくり向上推進 | | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> 新体力テストの向上 50m走の国・県平均以上を目標とした取組 体力テストの分析 キッズ元気アップ応援隊による就学前児童への運動機会の提供 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> チャレンジ徒歩通学強化月間（10月の21日間）として市内全小学校児童対象に実施（21日完歩71%、対前年比1%の増） 新体力テスト実施96項目（男女とも48項目、学年8項目）で72項目（75%）が全国平均を上回った。 キッズ元気アップ応援隊を実施し、就学前児童に様々な運動を体験させることができた。 | | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> 50m走 男子1・5年生、女子1・2・4年生が全国平均以上 チャレンジ徒歩通学完歩者対前年比1%の増 キッズ元気アップ応援隊各保育所で68回実施、1,806人が参加 | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 1,986,000 | | 1,896,252 | | | | 1,896,000 | 252 |

| 5 款 | 労 働 費 | 1 項 | 労 働 諸 費 | 1 目 | 勤労青少年ホーム管理費 | | |
|-----------|---|-----------|---------|---------|---------------|---|-----------|
| 事業名 | | | | | 勤労青少年ホーム運営事業費 | 単位：円 | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 定期利用団体の活動に伴う施設の利用及び助言・指導（定期利用団体、その他不定期利用団体） 県内勤労青少年ホームとの交流会等への派遣 岩手県勤労青少年ホーム協議会及び県内の各勤労青少年ホームで行われる事業・イベントに参加し、青年間の交流を図る。 遠野市勤労青少年ホームの夜間管理委託 遠野市青年団体協議会に、年間120日、勤労青少年ホームの夜間の管理を委託する。 | | | | 計画値 | 定期利用申請団体の利用 8団体 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 定期利用団体の活動に対する助言、指導を行った。 年間を通して、音楽室・集会室など282回の使用があり、延べ2,017人が利用した。 県内勤労青少年ホームとの交流を行った。 定期総会（5月） 県内ブロック研修会（7月） 機関誌「もえ木」の発行（原稿作成） | | | | 実績値 | 定期利用申請団体 7団体 トオヌップ 11名 墨遊会 8名 英会話 9名 混声合唱 10名 バンド 4名 バンド 6名 バンド 5名 | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 4,754,000 | | 4,340,425 | | | | | 4,340,425 |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 1 目 | 教 育 委 員 会 費 | |
|-----------|---|---------|-----------|-------|-------------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 教育委員会費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条に規定する教育に関する事務を管理し、及び執行する。 | | | 計画値 | 定例会開催 12回 臨時会開催 随時 委員協議会開催 随時 | |
| 成果 | 教育委員会定例会及び臨時会並びに委員協議会を開催し、教育行政の推進を図った。 定例会及び臨時会では、24件の議案を審議した。 委員協議会では、4件の案件について協議を行った。 | | | 実績値 | 定例会開催 12回 臨時会開催 3回 委員協議会開催 2回 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 3,382,000 | 3,092,336 | | | | 3,092,336 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|------------|---|---------|-----------|-------|----------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 事務局一般事務費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 教育行政の推進に当たって必要となる人件費、需用費、役務費、負担金・補助金その他の一般事務費。 | | | 計画値 | 中学校再編成に係る市民懇談会 18回 事業支援団体 2団体 | |
| 成果 | 適正な予算執行のもと、各種事務及び事業を円滑に実施した。また、学校保健会及び遠野高校情報ビジネス校振興協議会に対し補助金を交付し、各団体の活動に対する支援を行った。 遠野市立中学校再編成計画案については、平成21年6月11日に行われた遠野市議会中学校再編成調査特別委員会からの最終報告を受け、市内9地区において、関係団体の代表者との懇談会（平成21年7月29日～8月11日）及び市民懇談会（平成22年1月22日～2月5日）を開催し、再編成計画案に対する各町の状況を把握するとともに、計画の成案に向けた意見・提言をいただいた。 事務局職員人件費 70,127,867円（給料、職員手当及び共済費） | | | 実績値 | 中学校再編成に係る市民懇談会 18回 事業支援団体 2団体 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 87,752,000 | 85,217,996 | | | | 85,217,996 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|-----------|--|---------|-----------|-------|-------------|------|
| 事業名 | | | | | 私立幼稚園運営費補助金 | 単位：円 |
| 事業内容 | 幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園の運営に要する費用に対し補助を行う。 | | | 計画値 | 私立幼稚園 2園 | |
| 成果 | 私立幼稚園2園に対し補助金を交付し、市立幼稚園の健全な運営に寄与することにより、市内の幼児教育の振興を図った。 ・光の園幼稚園 57人 542,500円 ・聖光幼稚園 50人 525,000円 | | | 実績値 | 私立幼稚園 2園 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 1,083,000 | 1,067,500 | | | | 1,067,500 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|-----------|---|-----------|-----------|-------|--------------|------|
| 事業名 | | | | | 私立幼稚園就園奨励事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 私立幼稚園に就園する3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の所得状況に応じて、保育料等を減免する私立幼稚園の設置者に対し、その減免分の補助を行う。 | | | 計画値 | 対象園児数 102人 | |
| 成果 | 保護者の所得状況に応じて保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興を図った。 ・光の園幼稚園 43人（3歳児17人、4歳児17人、5歳児9人） ・聖光幼稚園 46人（3歳児16人、4歳児11人、5歳児19人） ・やさか幼稚園（北上市） 1人（3歳児1人） ・暁の星幼稚園（北上市） 1人（3歳児1人） | | | 実績値 | 対象園児数 91人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 8,411,000 | 8,175,100 | 2,108,000 | | | 6,067,100 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|-----------|---|---------|-----------|-------|---------------|------|
| 事業名 | | | | | 私立幼稚園保育料助成事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 遠野わらすっこプランの経済的支援策として、私立幼稚園に就園する園児の保育料について、次のとおり助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。 ・第1子園児の保育料を、規定基準額から5%軽減する。 ・第2子園児の保育料を、規定基準額から10%軽減する。 ・第3子以降の園児の保育料は、月額4,800円とする。 | | | 計画値 | 保育料助成園児数 117人 | |
| 成果 | 保育料の助成により、保護者の経済的負担が軽減され、保護者がより子育てに意欲を持つことができる環境づくりに寄与した。 保育料助成園児数 113人 ・第1子園児 49人 ・第2子園児 45人 ・第3子以降園児 19人 | | | 実績値 | 保育料助成園児数 113人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 4,356,000 | 3,784,500 | | | | 3,784,500 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|---------|---|---------|-----------|-------|-----------------|------|
| 事業名 | | | | | 地域教育文化振興事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 市内11地区に組織された地域教育協議会に対し、運営に要する経費を補助し、組織の充実と地域の教育力の向上を図る。 | | | 計画値 | 地域教育協議会設置数 11地区 | |
| 成果 | 市内11地区の地域教育協議会に対し、運営に要する経費を補助し、組織の充実と地域の教育力の向上を図った。 | | | 実績値 | 地域教育協議会設置数 11地区 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 550,000 | 545,200 | | | | 545,200 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|---------|--|---------|-----------|-------|------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | スクールガードリーダーによる学校巡回、通学路等の安全評価を実施し、及びスクールガード（地域安全ボランティア）を養成し、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。 | | | 計画値 | スクールガードリーダー活動計画 時間数 311時間 | |
| 成果 | スクールガードリーダーによる市内全学校の巡回、通学路の安全点検及び安全パトロール等をきめ細かく実施するとともに、スクールガードと連携した見守り活動を効果的に行い、地域社会で学校安全に取り組むことができた。 | | | 実績値 | スクールガードリーダー活動実績 時間数 311時間 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 510,000 | 347,358 | 330,000 | | | 17,358 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|------------|--|---------|-----------|-------|---------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 学校教育一般事務費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 学校教育に関する庶務一般に要する経費。 関係会議等の開催を開催するほか、指導主事の派遣による各小中学校の校内研究支援を行う。 学校教職員の研修事業として授業力向上研修会（2回）、毛筆書写講習会、臨時任用教員研修会、幼稚園・保育園・小学校交流会、知能テスター講習会を開催する。 遠野市生徒指導推進協議会、岩手県こたばを育む親の会遠野支部、遠野市特別支援教育研究会事業への補助を行う。 | | | 計画値 | 指導主事の派遣回数 100回 各種研修会の開催件数 5回 | |
| 成果 | さまざまな教科担当の指導主事を派遣し、校内研究の充実を図り、児童生徒の学力向上を図ることができた。 各種研修会では、課題とされる分野の研修を行うことで、学校教育のより一層の充実が図られた。 学校教育関係団体への補助により、それぞれの団体への支援を行うことができた。 予算額のうち31,083,000円は人件費（給料、職員手当、共済費） 決算額のうち31,067,934円は人件費（給料、職員手当、共済費） | | | 実績値 | 指導主事の派遣回数 129回 各種研修会の開催件数 6回 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 31,975,000 | 31,821,581 | | | | 31,821,581 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|---------|--|---------|-----------|-------|---|------|
| 事業名 | | | | | 文化行事奨励費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 市内小学校音楽祭の開催、市内小中学校作品展の開催、小中学校作文コンクールの実施を行う。作文コンクールでは入賞作品を集めた児童生徒文集「遠野」を発行する。 | | | 計画値 | 音楽祭の開催 1回 作品展の開催 1回 作文コンクールの開催 1回 文集の印刷製本 200冊 | |
| 成果 | 小学校音楽祭は遠野テレビで放送することで、より多くの市民に対して視聴する機会を提供することができた。 作品展、作文コンクールについては、多くの児童生徒の応募の中から優秀作品に対して表彰を行い、最優秀作品（小6、中3）については教育文化奨励賞への推薦を行った。また、作品展については、とびあで展示することにより、多くの市民に鑑賞いただいた。 | | | 実績値 | 音楽祭の開催 1回 作品展の開催 1回 作文コンクールの開催 1回 文集の印刷製本 200冊 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 399,000 | 339,319 | | | | 339,319 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|-----------|---|---------|-----------|-------|------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 外国人講師招へい事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | <p>中学校の英語教育や小学校の外国語活動及び国際理解教育の支援を図るため、外国語指導助手（ALT）2名を招へいし、国際化に対応することができる英語力の定着と国際理解教育の推進を図る。</p> | | | 計画値 | 派遣学校数 19校 派遣日数 343日 | |
| 成果 | <p>児童生徒は、外国語指導助手から生きた英語を学ぶことができた。中学校においては、「聞くこと」「話すこと」に関する言語活動を中心に、生徒の能力向上を図ることができた。小学校では、新学習指導要領により、平成21年度から5年・6年で「外国語活動」を実施しているが、言語や文化について、体験的に理解するとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする等の効果があった。</p> | | | 実績値 | 派遣学校数 19校 派遣日数 313日 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 8,666,000 | 8,621,145 | | | | 8,621,145 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|---------|---|---------|-----------|-------|----------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 就学指導委員会費 | 単位：円 |
| 事業内容 | <p>就学指導委員会を開催し、市内小中学校の児童生徒の就学に関する判断、支援を行う。</p> | | | 計画値 | 就学指導委員会の開催回数 3回 知能検査研修会の開催 1回 | |
| 成果 | <p>就学前の児童について、知能検査等各種教育相談を経て、よりよい就学環境を整えることができた。知能検査の実施に当たり、事前に講習会を開催し、就学指導委員会に備えることができた。</p> | | | 実績値 | 就学指導委員会の開催回数 3回 知能検査研修会の開催 1回 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 166,000 | 61,905 | | | | 61,905 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|---------|---|---------|-----------|-------|---------------------|------|
| 事業名 | | | | | 学校教育専門員配置事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | <p>学校教育専門員1名を配置し、市内小中学校に対して訪問指導を行う。学力向上に向けて、校内研究や指導方法について具体的な指導・支援を行い、教員の指導力の向上を図る。</p> | | | 計画値 | 実施校 19校 訪問日数 47日 | |
| 成果 | <p>市内全小・中学校を訪問し、学力向上に関する指導・支援を行い、教員の指導力向上を図り、児童生徒が充実した学校生活をおくることできるように指導、助言を行った。</p> | | | 実績値 | 実施校 19校 訪問日数 39日 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 322,000 | 101,040 | | | | 101,040 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|---------|---|---------|-----------|-------|-------------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 適応支援相談員等配置事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 適応支援相談員を中学校に配置し、学校・家庭・地域・関係機関等との連携を強化し、不登校生徒の学校適応を図るとともに、配置中学校区内の小中学校を訪問し、児童及び保護者との相談活動により、学校不適応問題の未然防止と小・中学校の連携を推進する。 | | | 計画値 | 配置校数 1校 配置相談員数 1名 相談時間数 608時間 | |
| 成果 | 適応支援相談員を遠野中学校に配置し、別室登校生徒・不登校生徒の相談等対応を行った。学級担任、相談担当、養護教諭との定期的な情報交換を行うことで、教職員が統一した方針により対応することができた。 養護教諭との連携、家庭訪問や電話連絡により家庭との調整を行い、不登校生徒の心身の健康や家庭環境について把握し、継続的、効果的な支援を行うことができた。 | | | 実績値 | 配置校数 1校 配置相談員数 1名 相談時間数 890時間 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 900,000 | 900,000 | 726,000 | | | 174,000 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|-----------|---|---------|-----------|-----------|---------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 特色ある学校づくり事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 市内小中学校が、それぞれ企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統を生かして、農業体験、郷土芸能、地域理解学習に取り組む。 | | | 計画値 | 実施校 19校 児童生徒の地域理解度 80% | |
| 成果 | 学校と地域と家庭の連携が図られ、地域に開かれた学校及び特色のある学校づくりを推進することができた。 | | | 実績値 | 実施校 19校 児童生徒の地域理解度 97% | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 2,264,000 | 2,223,611 | 350,000 | | 1,873,000 | 611 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|---------|--|---------|-----------|-------|--------------|------|
| 事業名 | | | | | 豊かな体験活動推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 宮守小学校の5年生19名が、豊かな人間性や社会性を育むことをねらいとして、市内（宮守地区）で3泊4日の農家等宿泊及び農業体験、自然体験等の活動を行う。 県の調査研究事業であることから、報告書等によりその成果について広く周知を行う。 | | | 計画値 | 実施学校数 1校 | |
| 成果 | 参加児童は、農家への宿泊や農業体験等を通して多くの人と触れ合い、あいさつ、応答等といった人とのかわり方を体得することができた。 農業や郷土の食文化に直接触れる体験を通して、地域の産業に対する興味関心が高まった。 家庭を離れて市内の農家に宿泊し、さまざまな体験を行うことで、当初の目的が達成された。 活動の内容を報告集にまとめ、広くその成果を周知することができた。 | | | 実績値 | 実施学校数 1校 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 722,000 | 719,000 | 622,000 | | | 97,000 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 1 項 | | 教 育 総 務 費 | | 2 目 | | 事 務 局 費 | |
|---------|--|--|--|---------|--|-----------|-----|----------|----------|---------|--|
| 事業名 | | いわてコミュニティ・スクール推進事業費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 家庭や地域と協働する学校経営の実施のために、特色ある地域との連携によるモデル的な学校経営を推進する。 | | | | | | 計画値 | 実施学校数 4校 | | | |
| | 成果 | 地域の方を講師に迎え、地域の歴史や文化、自然についての講話を聞いたり、昔話で聞いた民話の題材を生かして、学習発表会で全校児童や保護者に発表したり、まとめの冊子づくりに発展させたりすることにより、学習の成果を挙げる事ができた。 | | | | | | 実績値 | 実施学校数 4校 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 317,000 | | 300,000 | | 300,000 | | | | | | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 1 項 | | 教 育 総 務 費 | | 2 目 | | 事 務 局 費 | |
|---------|---|---|--|---------|--|-----------|-----|-----------|-----------|---------|--|
| 事業名 | | ふるさと学校体験推進事業費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 東京都武蔵野市の小学生を小学校5校で受け入れ、交流を行う。児童の家庭を中心に、市内12世帯でホームステイを行いながら、5泊6日の日程で体験留学を行う。 | | | | | | 計画値 | 受入児童数 20名 | | | |
| | 成果 | 東京都武蔵野市の小学生を受け入れ、市内児童との交流を図ることができた。各受入校では、それぞれ特色のある授業の中で、武蔵野市の児童との交流を図った。 | | | | | | 実績値 | 受入児童数 23名 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 339,000 | | 237,389 | | | | | | | | 237,389 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 1 項 | | 教 育 総 務 費 | | 2 目 | | 事 務 局 費 | |
|---------|---|---|--|---------|--|-----------|-----|----------|----------|---------|--|
| 事業名 | | 平成・南部藩寺子屋交流事業費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 根城南部氏の縁でつながりのある遠野市、青森県八戸市、同七戸町の児童がそれぞれの市町を訪問し、相互に交流を図る。日常生活と異なる集団活動の中で、郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳等の体験を積む。 | | | | | | 計画値 | 参加児童 26名 | | | |
| | 成果 | 市内小学校から児童26名が参加し、受入交流、派遣交流を通じて根城南部氏の縁でつながりのある各市町の歴史、文化等を学び、相互に交流を図った。八戸市児童47名、七戸町児童20名が参加した。 ・受入交流 平成21年7月27日（八戸市、七戸町児童が来遠） ・派遣交流 平成21年8月3日から5日まで（遠野市児童が八戸市、七戸町を訪問） | | | | | | 実績値 | 参加児童 26名 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 913,000 | | 852,810 | | | | | | | | 852,810 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|------------|--|---------|-----------|-----|----------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 特別支援教育推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 通常学級の児童で個別に支援を必要とする児童に対して特別支援教育支援員を配置し、担任の補助、児童への支援を行う。 遠野小学校、遠野北小学校以外の小学校において言語指導が必要な児童に対して巡回指導を実施する。 | | | 計画値 | 特別支援教育支援員 10人 ことばの教室巡回指導講師 1人 | |
| 成果 | 小学校7校に特別支援教育支援員10名を、通常学級において支援が必要な児童に対して配置し、生活上、学習上の支援を行った。 ことばの教室巡回指導は、8校16名の児童を対象として行い、改善に向けて効果的な指導を行うことができた。 | | | 実績値 | 特別支援教育支援員 10人 ことばの教室巡回指導講師 1人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 12,112,000 | 11,493,600 | | | | 11,493,600 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 2 目 | 事 務 局 費 | |
|-----------|---|---------|-----------|-----|----------------------|------|
| 事業名 | | | | | 遠野わらすっこ「夢の教室」事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 心身の健全な発達に向けて、(財)日本サッカー協会が取り組んでいるプロジェクトであり、現役スポーツ選手や、そのOB・OGが「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を教えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。平成21年度は市内全小学校の6年生及び7校の5年生を対象とする。 | | | 計画値 | 実施校数 11校 実施回数 13回 | |
| 成果 | 市内全小学校の6年生及び7校の5年生344人を対象に授業を行った。「日常の学校生活では体験することの少ない元プロ選手との触れ合いにより、児童も自分の夢について真剣に考えるようになった。夢の実現のために努力する児童が増えた。」と好評であった。 | | | 実績値 | 実施校数 11校 実施回数 13回 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 1,300,000 | 1,254,559 | | | | 1,254,559 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 3 目 | 教 育 研 究 所 費 | |
|-----------|---|---------|-----------|-----|--|------|
| 事業名 | | | | | 教育研究所費(標準学力検査・学力向上事業費) | 単位：円 |
| 事業内容 | 市内小中学生(小2~小6、中1~中3対象)に対して、標準学力検査(NRT)を実施し、その結果を基に各研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い各学校へ還元する。 幼児ことばの教室及び適応指導教室の運営を行う。 児童生徒が学習した成果の発表の場として環境科学発表会を開催し、優秀者に対し表彰を行う。 | | | 計画値 | NRTの実施 1回 幼児ことばの教室相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会の開催 1回 環境科学発表会開催 1回 | |
| 成果 | 市内小中学生(小2~小6、中1~中3対象)に対して、標準学力検査(NRT)を実施し、その分析結果を学力向上事業、研究部会の研究に反映することができた。 幼児ことばの教室では、通級指導をすることで多くの幼児がその障がいや改善、解消することができた。また、適応指導教室では、不登校児童生徒への指導を行い、学校生活への復帰を支援することができた。 環境科学発表会では、環境及び科学に関する学習の成果を他校の児童生徒と発表し合うことで、より広い視野を持ち、環境問題への意識を更に高めることができた。 | | | 実績値 | NRTの実施 1回 幼児ことばの教室相談員 1名 教育相談員 1名 教育研究発表会開催 1回 環境科学発表会開催 1回 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 8,796,000 | 8,178,796 | | | | 8,178,796 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 3 目 | 教 育 研 究 所 費 | |
|---------|--|---------|-----------|-------|---------------------|------|
| 事業名 | | | | | 教育研究所費（社会科副読本編集事業費） | 単位：円 |
| 事業内容 | 地域理解の推進と郷土を愛する心を育むため、地域の教材を活用した小学校3・4年生向けの社会科副読本の印刷製本を行う。また、中学生向けの社会科副読本については、内容をインターネットで閲覧して活用する。 | | | 計画値 | 小学校社会科副読本の印刷製本 300冊 | |
| 成果 | 小学校については、社会科副読本を印刷製本し、3年生に配布した。中学校については、インターネットの閲覧により活用した。 | | | 実績値 | 小学校社会科副読本の印刷製本 300冊 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 627,000 | 626,500 | | | | 626,500 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 4 目 | 育 英 事 業 費 | |
|------------|--|---------|-----------|------------|--|------|
| 事業名 | | | | | 育英事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であるものの、経済的事由により修学困難なものに対し、学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。 また、平成20年度から、遠野わらすっこプランの子育て支援策として、大学生7名及び高校生3名の採用枠を拡大している。 | | | 計画値 | 新規奨学生採用数 大学生等 30人 高校生 8人 継続奨学生 大学生等 53人 高校生 12人 | |
| 成果 | 新たに34人（大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者30人、高等学校に在学する者4人）を決定し、継続貸与者62人（大学生等50人、高校生12人）と合わせて96人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。 貸付状況 ・新規大学生等 30人 14,400,000円 ・新規高校生 4人 720,000円 ・継続大学生等 50人 24,000,000円 ・継続高校生 12人 2,160,000円 計 96人 41,280,000円 | | | 実績値 | 新規奨学生採用数 大学生等 30人 高校生 4人 継続奨学生 大学生等 50人 高校生 12人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 41,420,000 | 41,414,420 | | | 35,065,738 | 6,348,682 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 1 項 | 教 育 総 務 費 | 5 目 | 公 舎 管 理 費 | |
|---------|---|---------|-----------|-------|----------------------|------|
| 事業名 | | | | | 公舎管理費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」充当事業として、宮守小学校教職員住宅2棟に下水道を接続し、教職員の快適な居住環境の整備に資する。 | | | 計画値 | 宮守小学校教職員住宅下水道切替工事 2棟 | |
| 成果 | 下水道の接続により、教職員の居住環境の向上が図られた。 | | | 実績値 | 宮守小学校教職員住宅下水道切替工事 2棟 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 936,000 | 935,550 | 900,000 | | | 35,550 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 2 項 | 小 学 校 費 | 1 目 | 学 校 管 理 費 | |
|-------------|---|---------|---------|---------|-----------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 小学校一般管理費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 市内小学校の運営に要する一般維持管理費用。 | | | 計画値 | 小学校 11校 学級数 83学級 児童数 1,455人 | |
| 成果 | 適正な予算執行のもと、市内小学校の健全な運営が行われた。 ・需用費 56,113,799円 ・役務費 6,743,684円 ・委託料 6,451,462円 ・使用料及び賃借料 3,808,651円 ・職員（用務員）人件費 33,424,112円 等 | | | 実績値 | 小学校 11校 学級数 83学級 児童数 1,455人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 114,814,000 | 109,041,543 | | | 293,221 | 108,748,322 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 2 項 | 小 学 校 費 | 1 目 | 学 校 管 理 費 | |
|-----------|--|---------|---------|-------|--|------|
| 事業名 | | | | | 学校保健管理費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 児童、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育の活動を円滑に行う。 また、学校保健安全法の規定に基づき、小学校への入学予定者を対象に健康診断等を行い、心身の状況を把握することで、義務教育の円滑な運営に資する。 | | | 計画値 | 児童数 1,426人 教職員数 121人 就学时健診対象児童数 224人 | |
| 成果 | 児童及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで、健康教育の推進に努めた。 内科・眼科・歯科健診（全児童）、耳鼻科健診、寄生虫卵検査（1～3年生）、心臓検診（1・4年生）、生活習慣病予防検診（4年生）、脊柱側弯検診（5・6年生）、尿検査（全児童）、教職員健診、教職員胃検診（35歳以上） 平成22年度に小学校に入学予定の子どもを対象に、10月及び11月に市内各小学校で健康診断等を行い、事前に子どもたちの心身の状況を把握し、義務教育の円滑な実施に資することができた。 | | | 実績値 | 児童数 1,426人 教職員数 121人 就学时健診実施児童数 224人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 9,456,000 | 8,890,177 | 18,000 | | | 8,872,177 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 2 項 | 小 学 校 費 | 2 目 | 教 育 振 興 費 | |
|------------|--|-----------|------------|-------|----------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 通学対策費（スクールバス更新） | 単位：円 |
| 事業内容 | 購入から15年が経過した小友小学校のスクールバス2台を更新し、児童のより安全かつ安心な通学環境を整備する。 | | | 計画値 | 小友小学校スクールバス更新 2台 | |
| 成果 | スクールバスの更新により、児童のより安全かつ安心な通学環境の整備が図られた。 小友小学校スクールバス（着座38人乗り、29人乗り） ・購入費 22,005,900円 ・公課費（重量税） 113,400円 ・役務費（自賠責保険料ほか）107,808円 | | | 実績値 | 小友小学校スクールバス更新 2台（中型、小型各1台） | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 22,350,000 | 22,227,108 | 5,000,000 | 17,000,000 | | 227,108 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 2 項 | | 小 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | | |
|-----------|---|-----------|--|--------|--|---------|-----|------------|------------|-----------|------|--|
| 事業名 | | 就学援助費 | | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費及び学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。 | | | | | | 計画値 | 支給児童数 105人 | | | | |
| | 就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 130人 1,783,528円 校外活動費 23人 57,163円 新入学学用品費 21人 394,685円 修学旅行費 25人 599,722円 通学費 6人 48,000円 学校給食費 130人 5,231,542円 学校病医療費 21人 253,171円 | | | | | | | 実績値 | 支給児童数 136人 | | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 | | 内 訳 | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | | |
| 8,382,000 | | 8,367,811 | | 22,000 | | | | | | 8,345,811 | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 2 項 | | 小 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | | |
|---------|---|-----------|--|---------|--|---------|-----|---|---|-----------|------|--|
| 事業名 | | 特別支援教育関係費 | | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 特別支援学級及びことばの教室の活動に対する支援を行う。 | | | | | | 計画値 | 特別支援学級 対象校：5校7学級 対象児童：17人 ことばの教室 設置校：2校 対象児童：38人 | | | | |
| | 特別支援学級及びことばの教室に対し、消耗品費及び印刷製本費を配当するとともに、ことばの教室通学費補助金を8人に支給し、活動の支援を図った。 | | | | | | | 実績値 | 特別支援学級 対象校：5校7学級 対象児童：17人 ことばの教室 設置校：2校 対象児童：38人 通学費補助：8人 | | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 | | 内 訳 | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | | |
| 559,000 | | 503,844 | | 147,000 | | | | | | 356,844 | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 2 項 | | 小 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | | |
|---------|--|-------------|--|---------|--|---------|-----|-----------|-----------|-----------|------|--|
| 事業名 | | 特別支援教育就学奨励費 | | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。 | | | | | | 計画値 | 支給児童数 18人 | | | | |
| | 特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 13人 281,775円 学用品費 13人 72,150円 新入学学用品費 2人 19,900円 校外活動費 9人 21,735円 通学用品費 11人 11,935円 | | | | | | | 実績値 | 支給児童数 13人 | | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 | | 内 訳 | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | | |
| 441,000 | | 407,495 | | 196,000 | | | | | | 211,495 | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 2 項 | | 小 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|---------|--|-----------------------------------|--|-------|-------|---------|---------|-------------|-------------|-----------|--|
| 事 業 名 | | 体 育 ・ 文 化 行 事 奨 励 費 | | | | | | | | 単 位 : 円 | |
| 事 業 内 容 | 市内小学校の体育事業への支援を行うため、遠野市小学校体育協会の実施する事業に対して補助金を交付する。 | | | | | | 計 画 値 | 事業補助団体 1 団体 | | | |
| | 成 果 | 市内小学校水泳記録会及び同陸上記録会の開催を支援することができた。 | | | | | | 実 績 値 | 事業補助団体 1 団体 | | |
| 予 算 額 | | 決 算 額 | | 財 源 | | 内 訳 | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 | | | | |
| 693,000 | | 693,000 | | | | | | 693,000 | | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 2 項 | | 小 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|---------|---|---|--|-------|-------|---------|---------|--------------------------|--------------------------|-----------|--|
| 事 業 名 | | 教 育 研 究 指 定 校 費 | | | | | | | | 単 位 : 円 | |
| 事 業 内 容 | 土淵小学校と小友小学校の2校を研究指定校とする。 土淵小学校は平成20年度から研究指定を行っており、2年目の今年度は学校公開を行い、市内はもとより、県内の学校に対して研究の成果を発表する。 小友小学校は指定1年目であり、道徳指導の研究指定を行う。 | | | | | | 計 画 値 | 研究指定校 2校 学校公開研究会開催 1回 | | | |
| | 成 果 | 土淵小学校は、学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集の作成、研究紀要の作成、研究のまとめを作成した。学校公開を行うことでその研究の成果を市内の小学校にも還元することができた。 小友小学校は1年目として基礎的研究を進め、2年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。 | | | | | | 実 績 値 | 研究指定校 2校 学校公開研究会開催 1回 | | |
| 予 算 額 | | 決 算 額 | | 財 源 | | 内 訳 | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 | | | | |
| 263,000 | | 230,186 | | | | | | 230,186 | | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 2 項 | | 小 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|-----------|--|--|--|-----------|-------|---------|---------|------------|------------|-----------|--|
| 事 業 名 | | 理 科 教 育 設 備 整 備 事 業 費 | | | | | | | | 単 位 : 円 | |
| 事 業 内 容 | 学習指導要領の改訂により、理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことから、必要な教材を整備し、小学校における理解教育の充実を図る。 | | | | | | 計 画 値 | 対象校：小学校11校 | | | |
| | 成 果 | 学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材の整備や、老朽化した教材の更新により、理科教育の設備の整備が図られた。 | | | | | | 実 績 値 | 対象校：小学校11校 | | |
| 予 算 額 | | 決 算 額 | | 財 源 | | 内 訳 | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一 般 財 源 | | | | |
| 4,184,000 | | 4,183,540 | | 2,086,000 | | | | 2,097,540 | | | |

| 10 款 | 教 育 費 | 2 項 | 小 学 校 費 | 2 目 | 教 育 振 興 費 | | |
|------------|---|--|---------|------------|--|---|-----------|
| 事業名 | | | | | 学校情報通信技術環境整備事業費 | 単位：円 | |
| 事業内容 | 情報教育の充実を図るため、市内小学校全校への電子黒板機能付デジタルテレビの導入、地上デジタルテレビ放送配線設備の整備、宮守小学校・鱒沢小学校のパーソナルコンピュータ及び周辺機器の更新、市内小学校の普通教室への校内LAN配線整備を行う。 | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板機能付デジタルテレビ 11校 地上デジタルテレビ放送配線整備 11校 パーソナルコンピュータ及び周辺機器更新 2校 校内LAN配線整備 11校 | | |
| | 成果 | 情報通信機器の導入及び配線設備の整備により、情報教育環境を充実させることができた。 <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板機能付デジタルテレビ及び周辺機器11校 9,231,175円 地上デジタルテレビ放送配線整備工事8校 3,248,738円 パーソナルコンピュータ及び周辺機器更新（宮守小：27台、鱒沢小：17台） 8,568,000円 校内LAN配線整備工事7校 3,538,406円 ノート型パーソナルコンピュータ購入8校（23台） 2,283,225円 | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板機能付デジタルテレビ及び周辺機器 11校 地上デジタルテレビ放送配線整備 8校 パーソナルコンピュータ及び周辺機器更新 2校 校内LAN配線整備 7校 ノート型パーソナルコンピュータ購入 8校（23台） | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 29,606,000 | | 28,373,664 | | 19,076,110 | 2,600,000 | | 6,697,554 |

| 10 款 | 教 育 費 | 2 項 | 小 学 校 費 | 3 目 | 学 校 建 設 費 | | |
|-------------|---|--|---------|------------|--|---|------------|
| 事業名 | | | | | 綾織小学校改築整備事業費 | 単位：円 | |
| 事業内容 | 学びのプラットフォーム構想に基づき、綾織中学校に併設して、綾織小学校校舎を改築する。特別教室及び屋内運動場は、綾織中学校との共同利用とする。 <p>平成19年度 基本構想（平成18年度繰越分）</p> <p>平成20年度 基本計画・基本設計（平成19年度繰越分）</p> <p>平成21～22年度 校舎改築工事</p> | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> 校舎建築工事（1期工事） | | |
| | 成果 | 学びのプラットフォーム構想に基づく校舎改築を、地域及び学校との連携を図りながら進めた。 <p>(1) 工事監理業務委託（期間 平成21年10月20日～平成22年11月26日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約額 3,675,000円（平成21年度支払額 837,000円） <p>(2) 校舎改築工事（期間 平成21年9月17日～平成22年11月11日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 契約額 397,635,000円 建築工事 294,000,000円（平成21年度支払額 81,000,000円） 電気設備工事 39,375,000円、 機械設備工事 64,260,000円 <p>(3) 綾織中学校クラブハウス移設工事 8,951,250円 等</p> また、国庫支出金の前倒しに伴い、平成22年3月補正で予算措置した校舎改築工事（2期工事）等に係る374,319,000円を平成22年度に繰り越した。 | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> 校舎建築工事（1期工事） 綾織中学校クラブハウス移設工事 | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 466,000,000 | | 91,680,250 | | 45,273,000 | 32,000,000 | | 14,407,250 |

| 10 款 教 育 費 | | 2 項 小 学 校 費 | | 3 目 学 校 建 設 費 | | |
|-------------|---|---|-------------|---------------|------------|--|
| 事業名 | | 遠野北小学校大規模改造等事業費 | | | | 単位：円 |
| 事業内容 | 老朽化した遠野北小学校の校舎の大規模改造（校舎面積 3,319㎡）、屋内運動場及びプールの改築等を行い、教育環境の一体的な整備を進める。 ・平成18年度 校舎耐震診断、屋内運動場耐力度調査 ・平成19年度 校舎大規模改造実施設計 ・平成20年度 校舎大規模改造工事 屋内運動場改築実施設計、地質調査 ・平成21年度 校舎大規模改造工事 屋内運動場改築工事、渡り廊下建設工事 プール改築実施設計、改築工事 ・平成22年度 旧屋内運動場解体工事、多目的ホール増築工事 屋外環境整備工事 | | | | 計画値 | 【平成20年度繰越分】 ・校舎大規模改造工事（2期工事） ・屋内運動場改築工事 ・プール改築工事 ・既存プール解体工事 【平成21年度分】 ・屋内運動場渡り廊下建設工事 |
| | 成果 | 事業計画に基づき、平成21年11月5日にプール改築工事、11月20日に校舎大規模改造工事、平成22年3月30日に屋内運動場改築工事及び渡り廊下建設工事がそれぞれ完了し、遠野北小学校の教育環境の一体的な整備が図られた。 ・校舎大規模改造工事（949㎡） 158,881,250円 ・屋内運動場改築工事（1,250.5㎡） 242,978,400円 ・プール改築工事（941㎡） 60,000,150円 ・屋内運動場渡り廊下建設工事（21.60㎡） 20,037,150円 ・既存プール解体工事 5,040,000円 ・備品購入費 30,857,926円 また、国庫支出金の前倒しに伴い、平成22年3月補正で予算措置した多目的ホール増築工事及び屋外環境整備工事の66,300,000円を平成22年度に繰り越した。 | | | | 実績値 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国庫支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 601,670,000 | 532,924,616 | 248,542,000 | 212,900,000 | | 71,482,616 | |

| 10 款 教 育 費 | | 2 項 小 学 校 費 | | 3 目 学 校 建 設 費 | | |
|------------|--|---|-----------|---------------|-----------|------------------------------|
| 事業名 | | 小学校太陽光発電システム整備事業費 | | | | 単位：円 |
| 事業内容 | 遠野北小学校及び綾織小学校の校舎改築等に併せ、太陽光発電システムを設置し、児童への環境教育の推進及び自然エネルギーの利用促進を図る。 | | | | 計画値 | 遠野北小学校 20kw 綾織小学校 20kw |
| | 成果 | 平成21年10月30日に2校の太陽光発電の設備設計が完成し、遠野北小学校は平成22年3月26日に工事が完了した。 遠野北小学校の太陽光発電システムは、プールの日よけの庇としても活用することができる太陽光パネル（20kw）と発電量が表示される装置を設置し、今後における児童への環境教育の推進及び自然エネルギーの利用促進が期待される。 なお、綾織小学校については、平成22年度の校舎建設に併せて太陽光パネル（15kw）を屋根に設置することから、平成22年度に工事建設費（17,713千円）を繰り越した。 設計委託料 1,785,000円（遠野北小・綾織小学校2校分） 工事請負費 22,286,250円（遠野北小学校） | | | | 実績値 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国庫支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 42,000,000 | 24,071,250 | 16,006,000 | 6,200,000 | | 1,865,250 | |

| 10 款 教 育 費 | | 2 項 小 学 校 費 | | 3 目 学 校 建 設 費 | | |
|------------|--|---|---------|---------------|---------|----------------------------|
| 事業名 | | 小学校施設耐震補強事業費 | | | | 単位：円 |
| 事業内容 | 平成18年度に実施した耐震診断の結果、補強が必要と判定された3小学校の耐震改修工事を実施する。 ・遠野小学校（校舎） ・鱒沢小学校（校舎） ・土淵小学校（屋内運動場） | | | | 計画値 | 【平成20年度繰越分】 耐震改修工事対象 3校 |
| | 成果 | 事業計画に基づき、遠野・鱒沢・土淵小学校の校舎又は屋内運動場の耐震改修工事を行い、児童が安全かつ安心な学校生活を送ることが出来る教育環境の整備が図られた。 ・遠野小学校校舎耐震改修工事 31,200,750円 ・鱒沢小学校校舎耐震改修工事 10,358,250円 ・土淵小学校屋内運動場耐震改修工事 6,088,950円 等 | | | | 実績値 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国庫支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 | |
| 60,998,000 | 48,995,450 | 48,077,000 | | | 918,450 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 3 項 | 中 学 校 費 | 1 目 | 学 校 管 理 費 | |
|-------------|---|---------|---------|--------|--------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 中学校一般管理費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 市内中学校の運営に必要な一般維持管理費用。 | | | 計画値 | 中学校 8校 学級数 37学級 生徒数 825人 | |
| 成果 | 適正な予算執行のもと、市内中学校の健全な学校運営が行われた。 ・需用費 44,954,032円 ・役務費 5,043,474円 ・委託料 6,086,472円 ・使用料及び賃借料 2,968,421円 ・職員（用務員）人件費 45,359,660円 等 | | | 実績値 | 中学校 8校 学級数 37学級 生徒数 825人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 107,584,000 | 104,848,708 | | | 33,094 | 104,815,614 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 3 項 | 中 学 校 費 | 1 目 | 学 校 管 理 費 | |
|-----------|--|---------|-----------|-------|-----------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | 中学校管理費（施設整備） | 単位：円 |
| 事業内容 | 教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図るため、宮守中学校のプールろ過器の更新を行う。 | | | 計画値 | 宮守中学校プールろ過器改修工事 | |
| 成果 | 宮守中学校のプールろ過器改修工事、遠野中学校の外倉庫整備工事により、教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図った。 ・宮守中学校プールろ過器改修工事 6,268,500円 ・遠野中学校外倉庫整備工事 1,241,100円 | | | 実績値 | ・宮守中学校プールろ過器改修工事 ・遠野中学校外倉庫整備工事 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 7,942,000 | 7,509,600 | | 5,900,000 | | 1,609,600 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 3 項 | 中 学 校 費 | 1 目 | 学 校 管 理 費 | |
|-----------|---|---------|---------|-------|----------------------|------|
| 事業名 | | | | | 学校保健管理費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 生徒、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育の活動を円滑に行う。 | | | 計画値 | 生徒数 796人 教職員数 78人 | |
| 成果 | 生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで健康教育に努めた。 内科・眼科・歯科健診（全生徒）、耳鼻科健診、貧血検査（1・3年生）、心臓検診（1年生）、生活習慣病予防検診（1年生）、脊柱側弯検診（1年生）、尿検査（全生徒）、教職員健診、教職員胃検診（35歳以上） | | | 実績値 | 生徒数 796人 教職員数 78人 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 6,606,000 | 5,783,033 | 15,000 | | | 5,768,033 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | | |
|-----------|----|---|--|---------|--|---------|--|-------|--|--|--|--|
| 事 業 名 | | 通学対策費 | | | | | | | | 単位：円 | | |
| 事業内容 | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・宮守中学校に通学する旧達首部中学校学区及び旧罇沢中学校学区の生徒を対象にスクールバスを運行する。 ・遠距離（6 km以上）から通学する生徒に対し、通学費を助成する。 ・教育課程における生徒の移動のため、スクールバスを運行する。 | | | | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの運行（3台） ・遠距離通学費補助金対象生徒：39人 | | | |
| | | 遠距離から通学する生徒のため、スクールバスの運行を行い、通学の負担軽減を図った。また、徒歩により遠距離から通学する生徒に対して通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・宮守中学校スクールバス委託料 4,558,932円 ・スクールバス特別運行委託料 833,175円 ・遠距離通学費補助金 148,000円 ・車両管理費用 1,390,556円 | | | | | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスの運行（3台） ・遠距離通学費補助金対象生徒：20人 | | |
| 予 算 額 | | 決 算 額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | | |
| 8,370,000 | | 6,930,663 | | | | | | | | 6,930,663 | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | | |
|------------|----|--|--|-----------|--|---------|--|-------|--|---|--|--|
| 事 業 名 | | 教材整備費 | | | | | | | | 単位：円 | | |
| 事業内容 | 成果 | 各中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入し、並びにパーソナルコンピュータを借り上げ、教育環境の整備に資する。 | | | | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入 ・図書購入 ・パーソナルコンピュータ借上げ 282台 | | | |
| | | 各中学校における教育活動に必要な教材備品を整備するとともに、図書の購入にあっては各校の充足率を高める予算措置を行い、教育環境の充実を図った。また、パーソナルコンピュータの借上げにより情報教育の推進に寄与した。 <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入費 2,036,810円 ・図書購入費 3,156,565円 ・パーソナルコンピュータ借上料 13,133,352円 等 | | | | | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> ・教材備品購入 66件 ・図書購入 2,123冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 282台 | | |
| 予 算 額 | | 決 算 額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | | |
| 19,269,000 | | 18,568,069 | | 2,000,000 | | | | | | 16,568,069 | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | | |
|--------|----|-----------------------------------|--|---------|--|---------|--|-------|---------------|--------------|--|--|
| 事 業 名 | | 指導用教材整備費 | | | | | | | | 単位：円 | | |
| 事業内容 | 成果 | 中学校教師用の教科書及び指導書を整備し、教員の指導力の向上を図る。 | | | | | | 計画値 | 教師用教科書・指導書 9冊 | | | |
| | | 非常勤講師用の教科書の不足分を整備した。 | | | | | | | 実績値 | 非常勤講師用教科書 4冊 | | |
| 予 算 額 | | 決 算 額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | | |
| 78,000 | | 41,580 | | | | | | | | 41,580 | | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|------------|--|--|--|---------|--|---------|--|-------|-----|------------|------------|
| 事業名 | | 就学援助費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費及び学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。 | | | | | | | | 計画値 | 支給生徒数 92人 | |
| | 成果 | 就学困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費 95人 2,352,300円 校外活動費 6人 35,040円 新入学生徒学用品費 25人 536,243円 修学旅行費 35人 2,631,499円 通学費 6人 48,000円 学校給食費 95人 4,665,963円 学校病医療費 22人 276,486円 | | | | | | | | 実績値 | 支給生徒数 100人 |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 10,557,000 | | 10,545,531 | | 36,000 | | | | | | 10,509,531 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|---------|---------------------|---|--|---------|--|---------|--|-------|-----|------------------------------------|------------------------------------|
| 事業名 | | 特別支援教育関係費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 特別支援学級の活動に対する支援を行う。 | | | | | | | | 計画値 | 特別支援学級 対象校： 2校2学級 対象生徒：6人 | |
| | 成果 | 特別支援学級を開設する中学校に消耗品費及び印刷製本費を配当し、活動の支援を行った。 | | | | | | | | 実績値 | 特別支援学級 対象校： 2校2学級 対象生徒：6人 |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 190,000 | | 124,166 | | | | | | | | 124,166 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|---------|---|--|--|---------|--|---------|--|-------|-----|-----------|----------|
| 事業名 | | 特別支援教育就学奨励費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施に努める。 | | | | | | | | 計画値 | 支給生徒数 6人 | |
| | 成果 | 特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費 3人 75,225円 学用品費 3人 32,550円 修学旅行費 1人 27,850円 校外活動費 3人 3,270円 通学用品費 3人 3,255円 | | | | | | | | 実績値 | 支給生徒数 3人 |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 243,000 | | 142,150 | | 49,000 | | | | | | 93,150 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|-----------|---|---|--|---------|--|---------|-----|-------------|-------------|-----------|--|
| 事業名 | | 体育・文化行事奨励費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 中学校体育連盟に対して事業補助を行うとともに、県大会、東北大会及び全国大会への選手派遣についての助成を行う。 中学校文化連盟に対する事業補助を行い、市内中学校の文化活動に対する支援を行う。 | | | | | | 計画値 | 事業補助団体 2 団体 | | | |
| | 成果 | 中学校体育連盟が主催する地区大会の開催に係る支援を行った。また、各競技での県大会及び東北大会出場校及び選手の交通費、宿泊費等の補助を行うことで中学生の部活動の支援を行うことができた。 インフルエンザの影響で市中文祭が中止となったため、中学校文化連盟への事業補助は行わなかった。 | | | | | | 実績値 | 事業補助団体 1 団体 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 3,997,000 | | 2,815,000 | | | | | | | | 2,815,000 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|---------|--|--|--|---------|--|---------|-----|----------------------------|----------------------------|-----------|--|
| 事業名 | | 教育研究指定校費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 土淵中学校を研究指定校とする。 土淵中学校は平成20年度から研究指定を行っており、2年目の今年度は学校公開を行い、市内はもとより、県内の学校に対して研究の成果を発表する。 | | | | | | 計画値 | 研究指定校 1 校 学校公開研究会開催 1 回 | | | |
| | 成果 | 土淵中学校は、学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集の作成、研究紀要の作成、研究のまとめを作成した。学校公開を行うことでその研究の成果を市内の中学校にも還元することができた。 | | | | | | 実績値 | 研究指定校 1 校 学校公開研究会開催 1 回 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 110,000 | | 101,312 | | | | | | | | 101,312 | |

| 10 款 | | 教 育 費 | | 3 項 | | 中 学 校 費 | | 2 目 | | 教 育 振 興 費 | |
|-----------|--|--|--|-----------|--|---------|-----|-------------|-------------|-----------|--|
| 事業名 | | 理科教育設備整備事業費 | | | | | | | | 単位：円 | |
| 事業内容 | 学習指導要領の改訂により、理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことから、必要な教材を整備し、中学校における理解教育の充実を図る。 | | | | | | 計画値 | 対象校：中学校 8 校 | | | |
| | 成果 | 学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材の整備や、老朽化した教材の更新により、理科教育の設備の整備が図られた。 | | | | | | 実績値 | 対象校：中学校 8 校 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
| | | | | 国県支出金 | | 地 方 債 | | そ の 他 | | 一般財源 | |
| 3,885,000 | | 3,884,520 | | 1,934,000 | | | | | | 1,950,520 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 3 項 | 中 学 校 費 | 2 目 | 教 育 振 興 費 | |
|------------|--|---|---------|-------|---|--|
| 事業名 | | | | | 学校情報通信技術環境整備事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 情報教育の充実を図るため、市内中学校全校への電子黒板機能付デジタルテレビの導入、地上デジタルテレビ放送配線設備の整備、小友中学校・附馬牛中学校のパーソナルコンピュータ及び周辺機器の更新、市内中学校の普通教室への校内LAN配線整備を行う。 | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板機能付デジタルテレビ 8校 地上デジタルテレビ放送配線整備 8校 パーソナルコンピュータ及び周辺機器更新 2校 校内LAN配線整備 8校 | |
| | 成果 | 情報通信機器の導入及び配線設備の整備により、情報教育環境を充実させることができた。 <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板機能付デジタルテレビ及び周辺機器 8校 6,735,875円 地上デジタルテレビ放送配線整備工事 8校 2,655,835円 パーソナルコンピュータ及び周辺機器更新（小友中：21台、附馬牛中：21台） 6,342,000円 校内LAN配線整備工事 8校 2,422,021円 ノート型パーソナルコンピュータ購入 8校（15台） 1,491,525円 | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板機能付デジタルテレビ及び周辺機器 8校 地上デジタルテレビ放送配線整備 8校 パーソナルコンピュータ及び周辺機器更新 2校 校内LAN配線整備 8校 ノート型パーソナルコンピュータ購入 8校（15台） |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 22,500,000 | 21,005,340 | 15,337,901 | 400,000 | | 5,267,439 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 4 項 | 幼 稚 園 費 | 1 目 | 幼 稚 園 費 | |
|-----------|--|--|---------|-----------|--|--|
| 事業名 | | | | | 幼稚園運営事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う教育を行う。 | | | 計画値 | 市立幼稚園数 3箇所 開園延べ日数 690日 年度当初就園決定 延児童数 408人 | |
| | 成果 | 幼児それぞれの興味や関心に応じ、遊びなどの直接的・具体的な体験を通じて学ぶことの楽しさを知ることや、積極的に物事へ関わろうとする気持ちを持つように指導することで、幼児の生活や学習の基盤を培うことができた。 | | | 実績値 | 市立幼稚園数 3箇所 開園延べ日数 690日 就園児童数 439人 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 5,708,000 | 4,989,849 | | | 4,170,960 | 818,889 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 1 目 | 社 会 教 育 総 務 費 | |
|------------|---|--|-----------|-------|---------------|---------------|
| 事業名 | | | | | 社会教育一般事務費 | 単位：円 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 社会教育事業の運営に関する一般事務を行う。 岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付する。 加盟団体（全国生涯学習市町村協議会及び岩手県社会教育連絡協議会）に対する負担金 職員人件費等 | | | 計画値 | 補助金・負担金 3件 | |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 社会教育事業に関する一般事務を行い、円滑な運営を図った。 岩手県更生保護協会事業に対し補助金を交付し、犯罪や非行を犯した人たちの更生の取組を支援した。 | | | 実績値 | 補助金・負担金 3件 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 56,175,000 | 55,804,158 | | | | 55,804,158 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 1 目 | 社 会 教 育 総 務 費 | | |
|-----------|---|-----------|-----------|---------|---------------|-------|-----------|
| 事業名 | | | | | 生涯学習のまちづくり推進費 | 単位：円 | |
| 事業内容 | 市民センター及び地区センターの生涯学習事業の推進、学びの出前講座などを開催する。 | | | 計画値 | 受講者数 4,060人 | | |
| | 市民センター及び各地区センターで生涯学習講座を60講座開催し、学習機会の提供とその奨励を図ることができた。 | | | 実績値 | 受講者数 4,682人 | | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 1,647,000 | | 1,290,324 | | | | | 1,290,324 |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 1 目 | 社 会 教 育 総 務 費 | | |
|-----------|--|--|-----------|---------|---|---|-----------|
| 事業名 | | | | | 青少年活動サポート事業費 | 単位：円 | |
| 事業内容 | 下記の3つを柱として活動を行う。 ・成人式「はたちのつどい」 ・少年少女囲碁・将棋教室 ・各種団体への補助及び補助金交付（遠野わらすっこまつり、遠野市青年団体協議会） | | | 計画値 | 成人式対象者 市内 307人 市外 69人 合計 376人 囲碁・将棋教室 囲碁の部 20人 将棋の部 20人 合計 40人 | | |
| | 成果 | <p>「成人式（はたちのつどい）」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 主役となる新成人が実行委員会を立ち上げ、企画・立案及び式の進行を行うことで、社会人としての自覚を高めるとともに、地域の方々と一緒になって大人への門出を祝う。 成果 実行委員会を立ち上げ、自分たちで企画運営を行うことで記念となり、また、行政のアドバイスにより「市民協働」の成人式とすることができた。 成人者271名（参加率88.6%）、来賓87名、一般230名、職員・青年会38名・・・総計626名 <p>「少年少女囲碁・将棋教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 子どもたちが有意義に余暇時間を過ごすことができる場所を提供するとともに、囲碁・将棋の対局を通して、他校の児童・生徒や指導者との交流を深めながら、集中力等を向上させる。 また、指導は、老人囲碁クラブや将棋協会の方々の協力により、市民協働で行う。 成果 年間活動9回のうち、将棋・囲碁教室活動については、ほぼ計画どおりに実施した。また、今年度から、プロ棋士を招いての将棋教室を実施し、参加者の将棋への意欲を高めた。 <p>「各種団体への補助及び補助金交付」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 「遠野わらすっこまつり実行委員会」に対して補助金を交付し、わらすっこまつりの開催を支援する。 「遠野市青少年を育てる市民会議」では、青少年の健全育成のための種々の活動を支援を図る。 成果 遠野わらすっこまつりを、児童館と連携して開催した。運動公園のスペースを有効に使い、大人の興味を引く場所や子どもが楽しめる場所を提供し、相乗効果を図ることができた。 | | | 実績値 | 成人式参加者 271人（参加率88.6%） 囲碁・将棋教室 囲碁の部 14人 将棋の部 22人 合計 36人 | |
| 予算額 | | 決算額 | | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 2,805,000 | | 2,220,575 | | | | | 2,220,575 |

| 10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費 1 目 社 会 教 育 総 務 費 | | |
|--|---|--|
| 事 業 名 | 芸術文化振興事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 1 芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等への支援を行い、活動の発表の機会と場の提供に努める。 2 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。 3 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努める。 4 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。 | 計画値 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 9 回 市民協働の自主事業の参加者数 1,770人 市民協働の自主事業の鑑賞者数 7,650人 |
| 成果 | 1 遠野市芸術文化協会加盟12団体が自主事業として発表会を開催するなど、芸術文化の振興に寄与した。 (1) 第4回遠野市民芸術祭 10月18日(日)合同茶会 鑑賞者293人、参加者40人 10月31日(土)～11月1日(日) ・舞台合同発表会 鑑賞者777人、参加者450人(32団体) ・総合展示会、菊花展 鑑賞者1,412人、参加者442人(25団体4個人) (2) 遠野市芸術文化協会等主催事業 ・大ホール1団体 鑑賞者500人、参加者30人 ・中ホール4団体 鑑賞者450人、参加者95人 ・みやもりホール6団体 鑑賞者1,200人、参加者180人 ・あえりあ遠野交流ホール1団体 鑑賞者100人、参加者15人 ・その他実施事業 鑑賞者2,780人、参加者350人 2 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努めた。 第35回市民の舞台遠野物語ファンタジー「オシラサマ昇天」を平成22年1月30日(土)、31日(日)の3回公演で、『遠野物語』発刊100周年記念事業として遠野市民センター大ホールで開催した。 ・鑑賞者 2,419人 ・参加者352人がスタッフ、キャスト、音楽(合唱、吹奏楽)として、子どもから高齢者まで幅広い年代の人たちが参加し、力をあわせ、舞台をつくりあげた。 3 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供した。 (1) 遠野市民センターバレエスタジオ ・毎週、金・土曜日の通常レッスン ・第32回発表会を11月22日(日)に開催した。 会場：市民センター大ホール 鑑賞者399人、参加者101人 (2) 遠野少年少女合唱隊 ・毎週土曜日の通常レッスン ・第20回発表会を11月28日(土)に開催した。 会場：市民センター中ホール 鑑賞者84人、参加者44人 4 演劇や演奏会等を行うなど、すぐれた芸術文化に触れる機会の充実に努めた。(市民協働の自主事業の参加者・鑑賞者数には含まない。) (1) 三遊亭好楽&三遊亭楽太郎 二人会 7月14日(火)、みやもりホール、鑑賞者291人 (2) 松竹特別公演「恋桜」 9月2日(水)、市民センター大ホール、鑑賞者592人 | 実績値 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 12回 市民協働の自主事業の参加者数 2,099人 市民協働の自主事業の鑑賞者数 10,414人 |
| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 |
| 18,999,000 | 18,120,657 | 国県支出金 地方債 その他 一般財源 |
| | | 15,609,800 2,510,857 |

| 10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費 1 目 社 会 教 育 総 務 費 | | |
|--|---|-----------------------------|
| 事 業 名 | と・お・のいきいき参画プラン推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 個人の人権が尊重され、男女が性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を推進するため、「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について、市民への意識啓発を行う。 | 計画値 補助金 1件 |
| 成果 | 「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」についての意識啓発を図る活動として、平成22年3月14日に、遠野女性のつどいを開催した。 | 実績値 補助金 1件 |
| 予算額 | 決算額 | 財源内訳 |
| 155,000 | 135,000 | 国県支出金 地方債 その他 一般財源 |
| | | 135,000 |

| 10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費 1 目 社 会 教 育 総 務 費 | | |
|--|--|---|
| 事 業 名 | 家庭教育支援総合推進事業費 | |
| | 単位：円 | |
| 事業内容 | <p>家庭における教育を支援することを目的として、家庭教育ゼミナールを開催し、家庭教育に関する学習機会の提供と充実を図る。</p> | 計画値 家庭教育ゼミナール開催 12回 家庭教育ゼミナール参加者 1,000人 家庭教育講演会 1回 |
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 「地域で子供を育てる活動発表会」の中で、岩手大学教育学部教授を講師に招いて家庭教育講演会を実施し、多くのPTA会員に、家庭教育についての学習の機会を提供することができた。 家庭教育ゼミナールを開催した。（市内10会場、参加者750人） | 実績値 家庭教育ゼミナール開催 10回 家庭教育ゼミナール参加者 750人 家庭教育講演会 1回 |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 |
| | | 国県支出金 地方債 その他 一般財源 |
| 330,000 | 182,317 | 182,317 |

| 10 款 教 育 費 5 項 社 会 教 育 費 1 目 社 会 教 育 総 務 費 | | |
|--|---|--|
| 事 業 名 | 学社連携プログラム推進事業費 | |
| | 単位：円 | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 下記の3つを柱として活動を行う。 少年少女ふるさと発見探偵団 子ども活動サポーター 放課後子ども教室 | 計画値 少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数 7回 登録団員 40人 延べ参加人数 280人 |
| 成果 | <p>「少年少女ふるさと発見探偵団」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 市内の異地域・異年齢の子どもたち（小学4～6年生）が、郷土の自然や歴史を楽しく学びながら、共に様々な体験活動を通して、集団の中でお互いに協調し、充実した人間関係を築き、社会の規範を守ることができる子どもの育成を図る。（年7回実施） 成果 30人の登録団員が、年間7回の活動を行った。延べ参加者数は177人（保護者参加は延べ19人）であった。 <p>「子ども活動サポーター」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 規律のある団体行動を行うことができるように声かけを行ったり、子どもたちに危険がないよう見守りを行ったりするとともに、子どもたちの相談に応じることにより、サポーター自ら指導者としての学習を行い、新しい時代を担うリーダーとしての資質の向上を図る。 成果 一般、岩手大学及び市内高校からボランティアを募集し、30人が登録した。ふるさと発見探偵団の活動や遠野わらすっこまつりに参加した。 <p>「放課後子ども教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 児童館・学校・地域と連携して放課後子ども教室を開催し、安全な放課後の居場所づくりとともに、子どもたちの自主学習の仕方や習慣化の契機づくりを図る。 成果 全11小学校区で開催し、学習アドバイザー、安全管理員を派遣し実施した。 | 実績値 少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数 7回 登録団員 30人 延べ参加人数 177人 放課後子ども教室 11教室(小学校区) |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 |
| | | 国県支出金 地方債 その他 一般財源 |
| 2,444,000 | 2,302,845 | 1,367,000 935,845 |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 1 目 | 社 会 教 育 総 務 費 | |
|-----------|---|---|-----------|-----------|--|--|
| 事業名 | | | | | 都市交流推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> 武蔵野市との児童交流により、異文化体験による人づくりと町づくりを進める。 サレルノ市との姉妹都市交流により、人、文化の交流から市民の国際理解と国際協力思想の高揚を図る。 | | | 計画値 | 武蔵野市児童交流受入 小学生 20人 職員 4人 サレルノ姉妹都市交流 ・サレルノ国際映画祭出席 ・姉妹都市への市民派遣数 30人 | |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 武蔵野市との児童交流 隔年で受入れと派遣事業を実施している。 平成21年度は武蔵野市小学生の受入れを実施した。遠野市の小学生と一緒にキャンプをし、自然体験を通して交流が深まった。 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭に合わせて関係者で訪問した。「遠野物語」発刊100周年をピーアールするために、サレルノ国際映画祭表彰式の舞台で「遠野物語」を披露し、遠野の語り文化を紹介する番組を制作した。 | | | 実績値 | 武蔵野市児童交流受入 小学生 20人 職員 4人 サレルノ姉妹都市交流 ・サレルノ国際映画祭出席 ・姉妹都市への市民派遣数 19人 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 1,323,000 | 1,254,952 | | | 1,235,000 | 19,952 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 2 目 | 公 民 館 費 | |
|------------|--|--|-----------|-----------|---|---|
| 事業名 | | | | | 公民館一般管理費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 地区公民館施設を適正に維持・管理し、地域における生涯学習の拠点として、地域住民が集い、安全かつ快適に地域づくり活動や学習活動を行うことができる環境をつくる。 | | | 計画値 | H21公民館使用料 計画 700,000円 平成20年度実績 利用件数 3,700件 利用人数 67,280人 | |
| | 成果 | 地域活動、生涯学習の場として、地域住民が集い、地域づくり活動や学習活動に利用された。 | | | 実績値 | H21公民館使用料 実績 1,025,123円 平成21年度実績 利用件数 4,191件 利用人数 83,835人 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 80,099,000 | 74,669,844 | | | 2,474,111 | 72,195,733 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 2 目 | 公 民 館 費 | |
|------------|--|---|-----------|-------|-------------------|-------------------------------------|
| 事業名 | | | | | 文化交流施設管理費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 生涯学習の場、交流の場としてのサービスの向上を図る。 また、民間活力を活かすため、指定管理者による管理を行い、効果的・効率的な施設の管理・運営を行う。 | | | 計画値 | 施設利用者数 12,000人 | |
| | 成果 | 市民の憩いの場、各種団体の交流の場として積極的に活用された。 発表会、演奏会等では、舞台操作の専門スタッフが充実したサービスを提供し、利用者・来場者からも好評であった。 | | | 実績値 | 施設利用件数 855件 施設利用者数 21,107人 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 18,405,000 | 18,404,746 | | | | 18,404,746 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 5 目 | 文化財調査保護費 | |
|-----------|--|--|-----------|-------|--|--|
| 事業名 | | | | | 文化財調査保護費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 本市の貴重な文化財の調査・保護・啓発活動を通して、文化都市としての資質を高め、市民に精神的豊かさを提供する。 ・指定文化財及び一般文化財の調査・保護・啓発活動の実施 ・郷土芸能の保護と育成 | | | 計画値 | 文化財の指定（累計） 132件 文化財教室 14回 " 受講者数359人 民俗芸能団体数（累計） 65団体 民俗芸能の映像記録団体数（累計） 16件 | |
| | 成果 | 『遠野物語』原稿及び関連資料、『遠野物語』初版本第1号の2件を市文化財として指定した。また、枯死に伴い、「シダレグリ」の指定を解除した。 文化財への理解と関心を深めるため、学習会等を開催した。 郷土芸能の保存、伝承を図るため、1団体の映像記録を作成した。 また、郷土芸能共演会の開催に要する経費の一部を補助し、郷土芸能の継承に努めた。 | | | 実績値 | 文化財の指定（累計） 133件 文化財教室 10回 " 受講者数506人 民俗芸能団体数（累計） 65団体 民俗芸能の映像記録団体数（累計） 17件 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 2,637,000 | 1,970,760 | | | | | 1,970,760 |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 5 目 | 文化財調査保護費 | |
|-----------|--|--|-----------|-------|---------------------------------------|---|
| 事業名 | | | | | 埋蔵文化財発掘調査事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 埋蔵文化財を発掘・調査し、分析を行うことで、この地に生きてきた先人の足跡を明らかにし、未来を考える材料を得る。 開発行為で消滅する埋蔵文化財包蔵地を事前に把握するため、分布調査を実施し、必要に応じ、工事への立会いや試掘調査を実施する。 市内でこれまでに発見された膨大な量の遺物や調査記録を適切に管理するため、非常勤職員を雇用し、文化課分室の維持管理を行う。 | | | 計画値 | 開発行為に伴う分布調査・工事立会・試掘調査一式 非常勤職員任用 2名 | |
| | 成果 | 遺物や調査記録を適切に管理した。 文化課分室の適切な維持管理を行った。 | | | 実績値 | 開発行為に伴う分布調査件数 45件 工事立会件数 3件 試掘調査件数 4件 非常勤職員任用 2名 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 5,197,000 | 4,536,429 | | | | | 4,536,429 |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社 会 教 育 費 | 5 目 | 文化財調査保護費 | |
|-----------|--|--|-----------|-------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 事業名 | | | | | 千葉家重要文化財指定整備活用事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | ・国指定重要文化財「千葉家住宅」を保全するため、国庫補助事業により自動火災報知設備を設置する。 ・文化財の周知を図るため、国指定文化財の説明板を設置する。 ・保全に向けての調査を行う。 | | | 計画値 | 自動火災報知設備一式 文化財説明板 1基 保全に関する調査一式 | |
| | 成果 | ・国指定重要文化財「千葉家住宅」を保全するため、国庫補助事業により、自動火災報知設備を設置した。 ・文化財の周知を図るため、文化財説明板を設置した。 千葉家住宅解説看板製作：1基 ・保全に向けての調査を行った。 | | | 実績値 | 自動火災報知設備一式 文化財説明板 1基 保全に関する調査一式 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 6,149,000 | 966,740 | | | | | 966,740 |

| 10 款 | 教 育 費 | 5 項 | 社会教育総務費 | 5 目 | 文化財調査保護費 | |
|-----------|--|--|---------|-----|---------------------------------|--|
| 事業名 | | | | | 文化的景観保存事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた本市独特の景観を将来に残し伝えていくため、国の重要文化的景観選定に向け調査を実施する。 | | | 計画値 | 土淵町山口集落調査 調査報告会開催 昔の写真展開催 | |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 『遠野物語』の主要な舞台となった地として里山的な景観が保存されている土淵町山口集落の追加選定に向け調査を実施するとともに、その結果を地区の方々に報告した。 昔の写真展を開催することにより、地域の変遷を理解し保存することの意義について理解を深めた。 選定に向けた調査 調査一式：民俗・水系・信仰・建築・植生・土地利用の変遷 | | | 実績値 | 土淵町山口集落調査 調査報告会開催 昔の写真展開催 各調査一式 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,421,000 | 2,281,184 | 1,000,000 | | | | 1,281,184 |

| 10 款 | 教 育 費 | 6 項 | 保健体育費 | 1 目 | 保健体育総務費 | |
|------------|---|---|---------|-----|---|--|
| 事業名 | | | | | スポーツ健康一般事務費 | 単位：円 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツ健康課一般事務費 スポーツ振興審議会 遠野市体育指導委員活動 学校開放事業 全国市長会損害賠償補償保険 | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業の実施 全国市長会損害賠償補償保険加入 体育指導委員定例会6回 | |
| | 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業を実施し、学校体育施設を市民のスポーツ活動のため開放した。 全市民を対象とした全国市長会損害賠償補償保険に加入した。 遠野市体育指導委員定例会を6回開催した。 | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> 学校開放事業実施（市内小・中学校） 全国市長会損害賠償補償保険全市民加入 体育指導委員定例会6回開催 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 29,784,000 | 29,549,124 | | | | 882,375 | 28,666,749 |

| 10 款 | 教 育 費 | 6 項 | 保健体育費 | 1 目 | 保健体育総務費 | |
|------------|--|---|---------|-----|--|--|
| 事業名 | | | | | 競技・イベントスポーツプログラム推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツ振興及び普及に関する活動 各種スポーツ教室、子ども教室の開催及び支援 各種スポーツイベントの開催及び支援 町民運動会開催に対する支援 遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部に対する補助金の交付 | | | 計画値 | <ul style="list-style-type: none"> 事業補助2団体 各種教室の開催 | |
| | 成果 | 各種スポーツ教室やスポーツイベントの開催及び支援を行い、スポーツの振興と普及に寄与した。 遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部に対し、補助金を交付し、各団体の活動の活性化に寄与した。 | | | 実績値 | <ul style="list-style-type: none"> 事業補助2団体 各種教室の開催 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 10,813,000 | 10,613,816 | | | | | 10,613,816 |

| 10 款 | 教 育 費 | 6 項 | 保 健 体 育 費 | 1 目 | 保 健 体 育 総 務 費 | |
|-----------|--|---------|-----------|-----------|--------------------------------|------|
| 事業名 | | | | | ジュニアレベルアッププログラム推進事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 遠野市の競技スポーツ力向上を図るため、競技種目ごとにジュニアスポーツクラブを育成支援し、さらにクラブの連合による競技型の総合型地域スポーツクラブとして、育成支援、一環指導システムの構築を推進する。 | | | 計画値 | ・事業補助 2団体 ・スポーツアドバイザー招へい 2回 | |
| 成果 | ・市内中学校野球部及び野球スポーツ少年団を対象に、石井野球教室を開催し、少年野球のレベルアップを図った。 4回 16日開催 延べ16チーム参加 ・市内スポーツ少年団、中学校、高校サッカー部を対象にトップレベルの指導者によるサッカー教室を開催し、競技力の向上を図った。 14回開催 延べ受講者人数889人 | | | 実績値 | ・事業補助 2団体 ・スポーツアドバイザー招へい 2回 | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 3,300,000 | 2,884,825 | | | 2,884,000 | 825 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 6 項 | 保 健 体 育 費 | 1 目 | 保 健 体 育 総 務 費 | |
|---------|---|---------|-----------|-------|----------------------|------|
| 事業名 | | | | | 岩手国体サッカー会場誘致事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 平成28年に岩手県で開催される第71回国民体育大会のサッカー競技（少年男子の部）の会場に本市が決定したことから、先進地視察を行い、今後の会場整備の推進を図る。 | | | 計画値 | 先進地視察 1件 | |
| 成果 | 千葉県市原市のサッカー会場を視察し、今後の会場整備の参考とすることができた。 | | | 実績値 | 先進地視察 1件 （千葉県市原市） | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 200,000 | 137,680 | | | | 137,680 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 6 項 | 保 健 体 育 費 | 2 目 | 学 校 給 食 費 | |
|-------------|--|-----------|-----------|-------------|---|------|
| 事業名 | | | | | 学校給食事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 学校教育における給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、好ましい人間関係の形成などを目標としている。目標達成のために、「地産地消」及び「食育」の推進、学校訪問及び栄養指導、衛生管理に取り組む。 年間の給食実施回数：小学校170回、中学校168回 給食供給人数：2,588人 | | | 計画値 | 年間供給食数 438,022食 米飯日数 小 130回 中 129回 パン日数 小 40回 中 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 50% | |
| 成果 | 文部科学省告示「学校給食衛生基準」等を遵守し、衛生管理を徹底し、安全で安心な給食の提供に努めた。 また、遠野で生産される食材を積極的に利用し、地場産品の消費拡大を図るとともに、「遠野旬を食べよう給食」を年6回実施し、郷土の食文化や、地域で採れる農産物への理解を深めた。 学校栄養職員が学校を訪問し、栄養指導等（各学校年2回、宮守は各学級年1回）を行い、食事のマナーや望ましい食習慣などの意識付けを行った。 | | | 実績値 | 年間供給食数 438,022食 米飯日数 小 130回 中 129回 パン日数 小 40回 中 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 63.3% | |
| 予算額 | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | | |
| | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 | |
| 271,522,000 | 269,567,709 | 5,000,000 | | 120,391,793 | 144,175,916 | |

| 10 款 | 教 育 費 | 6 項 | 保 健 体 育 費 | 3 目 | 体 育 施 設 費 | |
|------------|---|--|-----------|-------|--------------------|--------------------|
| 事業名 | | | | | 体育施設管理費（一般） | 単位：円 |
| 事業内容 | 市が所有する体育施設の維持管理を行う。指定管理者制度を導入し、民間活力を生かした施設の管理運営を行うことで、より質の高いサービスの提供に努める。 また、不具合箇所の早期修繕を実施し、安全な施設の提供に努める。 | | | 計画値 | 施設利用者数 223,000人 | |
| | 成果 | 体育施設の適正な維持管理に努めた。 また、指定管理者が自主事業としてスポーツ教室等を開催し、サービスの充実が図られた。 施設利用者数は、市民プール、早瀬川緑地のグラウンドゴルフ場の利用が増となったものの、全体的には計画値を下回った。 | | | 実績値 | 施設利用者数 216,509人 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 80,349,000 | 80,225,815 | | | | 4,315,864 | 75,909,951 |

| 10 款 | 教 育 費 | 6 項 | 保 健 体 育 費 | 3 目 | 体 育 施 設 費 | |
|------------|---|--|-----------|-------|-----------------|-----------|
| 事業名 | | | | | 体育施設ブラッシュアップ事業費 | 単位：円 |
| 事業内容 | 稲荷下屋内運動場改修工事 内訳 ・人口芝張替 ・防球ネット更新 銀河の森運動公園改修工事 内訳 ・森林体験交流施設屋根塗装 ・遊歩道補修 | | | 計画値 | 計画工事数 2件 | |
| | 成果 | 稲荷下屋内運動場改修工事 ・人口芝張替、防球ネット更新 銀河の森運動公園改修工事 ・森林体験交流施設屋根塗装、遊歩道補修 市民体育館改修工事 ・体育ホール窓改良、シャワールーム壁タイル張替 赤羽根スキー場改修工事 ・高圧気中開閉器更新 | | | 実績値 | 実施工事数 4件 |
| 予算額 | | 決算額 | 財 源 内 訳 | | | |
| | | | 国県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | 一般財源 |
| 34,815,000 | 34,713,000 | 33,070,000 | | | | 1,643,000 |